京城日報

二十九日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 郵稅一ヶ月金十五錢 前金三ヶ月分六ヶ月分に限り割引あり ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字八字詰壹行金壹圓 ▲三號活字十二字詰壹行金參圓 ▲六號活字廿一字詰壹行金七拾錢
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

ウ氏單獨非講和保障

米國大統領ウイルソン氏は英國外相バルフォーア氏に對し米國は誓つて單獨講和を爲さざる旨を保障せり(路透電報)

伯林大革命か 事態愈々重大となる

▲第一報 伯林に於ける金屬工業關係職工の同盟罷業は其の後益々事態重大となり終には兵器製造職工と同樣食糧品不足、物價騰貴に苦しめる市民の大部分又罷業者の群に投じ一齊に麵麭を與へよと絶叫しつゝ各所に示威運動を試み官憲の警戒頗る嚴重なり

▲第二報 到る處民衆と官憲の衝突あり更に最近ウヰルヘルム、スハーヘンの軍港爆發問題起れるより民衆は甚だしく激昂し盛んに暴動を演じつゝあり政府は伯林市一帶に戒嚴令を布かん

▲第三報 伯林の暴動は益々熾烈を極め終に政治的色彩を帶び來れり政府は百方鎭撫に努めつゝあるも大勢如何ともする能はず或は大革命勃發すべく各新聞紙は爭ふて之が豫報を怠らず(路透電報)

露新政府宣言起草

露國臨時政府は和戰に關する新政府の方針を協商國側に明示す可く之が宣言書を起草中也(哈爾賓電報)

英船危險を免かる

英國に航行中の濠洲軍隊輸送船バララット號は獨艇に水雷を發射されたるも軍隊全部救助されたり(紐育電報)

滿洲交代兵通過

滿洲駐剳交代の爲め藤井第七師團長以下司令部及び歩兵第二十六聯隊千六百名は二十八日夜より二十九日朝にかけ安東驛通過遼陽に向へり(安東特電)

山下中將檢閲

山下佐世保鎭守府司令長官は二十八日驅逐艦にて鎭海に入港、要港部を檢閲し二十九日歸任せり(馬山特電)

兵器局長等著釜

支那各地視察の陸軍兵器局長陸軍少將筑紫熊七同砲兵中佐近藤兵三郎同陸軍少佐川崎吉五郎鮮銀木村理事の諸氏は廿九日午前一時三十分壹岐丸にて來釜午前急行列車にて出發せり(釜山特電)

大野八木兩氏著釜

哈爾賓三井支店主任大野貞三李王職八木囑託の兩氏は二十九日著直ちに出發せり(釜山特電)

張督軍の歡喜

張奉天督軍は北京政府より章駐日公使より「日本總選擧完了し政府黨大多數を占め日本政府は頗る前途を樂觀せり此より中日親善は益々鞏固に赴す可し」との電報に接してかねて其信賴する寺內伯內閣の基礎定まりたれば其標榜する處の對支親善政策も茲に確立すべしとて大に喜び祝賀の意を表する爲め不日馬交涉署長を日本總領事舘に派遣兩國親善の阻碍排除案に就き提議せしむる由(天來)

支那紙の謠言

某漢字紙の所報に據れば昨今阮忠樞、靳雲鵬、王揖唐の諸士は宗社黨計畫に就き天津に於て密議を凝らしつゝある由にて彼等が滿帝復辟の條件とする處は(一)大中華帝國大皇帝は宣統帝を以て之に充つ但し滿朝を打消す事(二)北洋派の將軍は將輔政王に封ずる事(三)滿帝は某漢人大員の女を皇后に娶る事(四)有賀長雄、青木中將を聘して文武の帝師となす事に在りと報せり有賀、青木二氏の帝師云々は天外的の奇想にて謠言も茲に極れりと謂ふ可し(北京)

高粱禁輸發布

近頃奉天市場に於ける高粱價格は八角より一元に激騰し細民皆非常に苦難せるが之れが原因に就きては大手筋糧棧の買收と且つ外商が九里溝子及び大石橋附近に於て買占めを試みる爲めなりと云ひ又一報には山東の石商王某が日本人と聯絡して南滿沿線に於て高粱黄豆等を買占め之れを內省に輸送する爲めなりとも傳へられ支那官憲に於ては何れにせよ其結果が細民の食料に影響するものなりとし今回高粱禁輸令を發布したり(北京)

移住鮮人進入

東滿に於ける在來移住鮮人の散布地は主として延吉、和龍、汪淸、琿春の各縣東寧、寧安、樺甸、撫松、安圖の各縣に亙り敦化縣は從來一戸の移住鮮人を有せず間島延吉縣甕聲磖子を限りとし其以西にありては鮮人の隻影だも見る能はざりしが本年に入り移住鮮人は敦化縣に進入し牡丹嶺の北麓馬號附近には白衣扛袖の鮮人點々家屋を構へ耕耘に從ひ居れり(間島)

間島水田好望

流域と平野に富む間島は水田に適するも數年前までは殆んど顧みられず移住鮮人僅かに之を營むに過ぎざりしが昨年に至りて水田熱は頗る勃興し支那農の水田經營に手を染むるもの出で其產額も昨年は一萬四千石といふ出來榮なりしかば本年は更らに水田に心を傾くる鮮支農民少からず此傾向によれば今秋米の收穫は優に三萬石に昇るべしと當業者は觀測しをれり(間島)

新嘗祭獻穀者

總督府にては新嘗祭獻穀に關し豫て耕作者選定中なりしが米は釜山府凡一洞佐谷瀧太郎氏に內定せる由又た粟は江原道內より選擇の意向あり目下盛田審査中なれば獻穀者の確定と共に遠からず決定を見る可し

滿洲視察團 廿九日夕歸著

既報の如く本社主催南北滿洲視察團は京城以北の團一部を除き愈廿九日午後七時三十分南大門驛著列車にて歸著す

沿線自動車狀況

鐵道局最近の調査に係る沿線の自動車狀況左の如し

運行區間	哩程	賃金(大人一人片道)	發著地點
馬山晉州間	十八里	四圓三〇	馬山驛前 晉州川前里
晉州三千浦間	八里二十六丁	一、六五	晉州川前里 三千浦海岸
大邱浦項間	二十五里六丁	五、一二	慶州浦項邑內
大邱玄風間	七里十五丁	一、四四	大邱驛前 玄風橋側
大邱安東間	廿六里十八丁	五、一〇	大邱驛前 安東邑內
金泉醴泉間	廿一里廿一丁	四、六〇	醴泉西本洞
金泉晉州間	廿八里十八丁	六、〇〇	金泉大和町 晉州本町
永同茂朱間	六里	一、三〇	永同郵便局前 茂朱郡廳前
論山公州間	八里二十八丁	一、八〇	論山本町 公州新市場
松汀里光州間	三里廿町(往復)	一、四〇 〇、七五	松汀里驛前 光州橋北岸
芙江淸州間	四里三十四丁	〇、八〇	芙江驛前 淸州本町四丁目
淸州忠州間	十七里十九丁	三、五〇	忠州錦町
鳥致院淸州間	四里三十町	〇、八〇	鳥致院驛前 淸州本町三丁目
淸州忠州間	十七里十九丁	三、五〇	淸州本町三丁目
鳥致院公州間	六里二十三丁	一、三五	鳥致院驛前 公州市場前
天安洪州間	十五里廿五丁	三、〇〇	天安驛前 洪州南山亭前
平澤安城間	四里十七町	〇、八〇	平澤驛前 安城邑內
水原驪州間	十七里	三、四〇	水原驛前 驪州
沙里院海州間	十九里	三、八〇	沙里院驛前 海州南本町
鎭南浦龍岡溫泉間	七里	一、五〇	鎭南浦驛前 龍岡溫泉場
新義州義州間	四里三十丁	一、〇〇	新義州 義州南門前

因に裡里全州間七里五丁の間は貸切扱に限り隨時運轉し賃金片道普通車九圓上等車十一圓なりと

京城と工產品

京城府昨年度に於ける工產製出品の主なるもの其の數約四十種に上り逐年進步發達の跡歷然たるは喜ぶべき現象と云ふべし其の數量價格に於ても之を前年度に對比する時は著しき製產能力の增大を示せり今其の主要品に就き製產價格及び製造戶數を開くに左の如し

種別	價格	戶數
織物	二二四、三七五圓	六三
編織物	二六七、八二二圓	二八五
金屬製品	三〇五、五一四圓	一六〇
履物	三三一、三五一圓	一五五
布綿製品	一、〇一一、八五九圓	八〇、二一三
酒類	三九七、六六六圓	一、七四三
穀粉	二五八、四四〇圓	二二五四
煙草	三、〇六二、九四四圓	一七
紙及紙製品	一一三、一六二圓	二九二
窯業製品	一三三、二三八圓	一八
石木器	一九六、〇七五圓	九六
裝身具及雜貨品	一二九、八四五圓	一六一
動物性脂油	二二、〇一二圓	二五

等にして尙此外數十種の製產品中には石鹼五萬一千四十四圓、十八戶、染料九萬一千圓、二戶、塗料五千五百九十一圓、一戶等あり即ち何れも出額少なりと雖も將に製造工業勃興の機運に際會し相當の投資あらば益々發展の域に進むを得べく殊に鮮人唯一の家庭的工藝品たる編組物の如きは前年度に比して約八萬七千圓の產出增額を示せる有樣なりと云ふ

成川の金鑛 全部到る所に鑛脈を發見す

(平南)成川郡には現今既に許可鑛區十箇所と出願中のもの數箇所あり殆んど金鑛は郡內到る處に見出され鑛脈は縱横に走れるが如き觀あり殊に其最も有望視せらるゝは鑛脈の幅廣く含金率高きとにてパーセンテージは概ね十萬分の四五にして萬分毫を以て稱せらるゝものすらあり現在採掘に著手せる重なるものは平壤久保氏の三德(舩倉)京城津田氏の成興(龍仁)京城李氏の匡山(匡山里)京城趙氏の大成(成都面)閔氏の德成(同)谷口氏の石隅里(天成面)等各金鑛にして多きは千人以上少きも二三百人の坑夫從業し居れり(平壤)

喜雨漸く到る

大田地方に於ては近來降雨少なく既に三十餘日間降雨らしき降雨を見ざりし爲め一般農家殊に苗木栽培者の苦痛甚しく中には折角本年接木植付けたる數萬本の苗木を枯死せしめたるものあり非常に苦痛を感じ居たるが二十七日午前より充分の降雨あり農家一般は非常に喜び居れり(大田)

大田の御慰問使

御慰問使內山侍從武官長の一行は既報の如く廿八日午後〇時廿分著列車にて大田に到著吉久驛長の先導にてプラットフォームに出迎へたる在住官民在鄕軍人分會員、愛國婦人會員等に會釋し驛前に出でたり驛前には第四中隊の堵列隊、井伊大尉の引率する第三中隊の儀仗隊及び儀仗衛兵の敬禮を受け直ちに中川旅館に入り少憩の上上長官以上の伺候式を行ひ儀仗隊の儀仗の下に腕車にて步兵第七十九聯隊に到り將卒一同に聖旨を傳達し次いで憲兵分隊に於いて同樣傳達の事あり午後四時頃再び中川旅館に入れるが前記の外出迎への主なるものは中學校、尋常高等小學校、普通公立學校、幼稚園、恩賜產業傳習所生等にして非常の雜鬧を呈したり(大田)

御慰問使來釜期

在鮮軍隊慰問の聖旨を奉じ渡鮮せる侍從武官長內山大將は五月四日午後二時二十分鎭海より來釜釜山守備隊、運輸支部、憲兵隊等を慰問し聖旨を傳へ同午後四時三十分特別電車にて東萊溫泉に赴き同地蓬萊館に一泊翌五日午前釜山鎭に出で同所より午前急行列車にて西鮮に向け出發の豫定なり(釜山)

西海岸豐漁 有望なる春季漁業

全羅南道沿岸蝟島沖合に於ける第一潮時(閏二月十五日潮)の石首魚漁業は出漁船數內地人六十五隻、朝鮮人八十隻、其の漁獲高內地人六千五百圓、朝鮮人六千四百圓計一萬二千九百圓に達し漁獲物は殆ど全部漁場に於て內鮮人出買船に放賣せり、又た同島の東南沖合なる鞍馬島附近の第二潮時(四月十七八日)に於ては內地人漁船四百二十二隻、朝鮮人漁船二百八隻の出漁あり其の漁獲高一隻百二三十圓を下らず兩者とも稀有の豐漁を見たり、這は本年は寒氣殊の外嚴しかりし爲め魚類は極めて濃厚なる群遊をなし平年の如く散亂せざりし結果にして漁路に敷設せる漁網に在りては一舉二萬尾以上の漁獲を見たり、此の情勢にて推移せば本年の群山沖合竹島附近の鯛漁及び黃海道延坪、平安道龍島附近の石首魚漁業等は大いに豐漁を見る可く、殊に本年は魚價一般に高騰せるより從業者等は非常に意氣込み居れり

南北滿洲

鞍山站と本溪湖

南北滿洲視察團より 西海生

▼滿鐵の經營せんとする鞍山站の製鐵所と、大倉組が主となり日支合辦の下に作業をしてゐる本溪湖の製鐵所とは、其の製鐵材料、位置、將來等に付き如何なる優劣を示してゐるか、此際概略の比較を試みるのは必ずしも徒爾でなからう

▼製鐵の主要原料たる鑛石、石炭、石灰石並に用水等に付て兩製鐵所は如何なる便宜と天惠を有してゐるかと云ふに、現在の所本溪湖は一歩鞍山站に勝つてゐるやうだ、何故ならば本溪湖の鑛石だけは約十四五哩の遠き南坟より運搬するの不利あれど石炭は炭質優秀のもの製鐵所の直下にあり、更に石灰石は炭層の下に無盡藏、又用水は本溪湖川の溪流により幾千にても其の用に供せらるゝからである

▼然るに鞍山站は鑛石こそ製鐵所附近より產すれ水は十二三哩の遼河若くば大子河より引き、石炭は本溪湖炭及び撫順炭を數十哩の遠方より運ばねばならぬ、石灰石も遼陽方面よりとらねばすぐ近くに之れを見出す事が出來ない、之れ天惠に於て若干鞍山站の不利なる所以である

▼唯!鞍山站は自由の輸送機關たる鐵道を有するの利益がある又鑛石は四十パーセント乃至六十パーセント含有のもの殆んど無盡藏なるに拘はらず、本溪湖の鑛石は今日採掘の分こそ、七十パーセント內外の良品だが、將來含有率は若干低下して行くらしい、又量に於ても幾千か少ないと見るのは衆口の一致せる點のやうだ

▼第二に其の位置並に將來の比較は怎うであるか、疑ひもなく本溪湖は不利の立場にある、乃ち本溪湖より港たる大連營口の何れに製鐵を出さんとするも鞍山站より遠路であり、從つて諸費用が嵩む、又重要視すべき製鐵所の將來は如何と見るに鞍山站は其の設備を如何に大規模に擴張せんとするも、綽々たる餘裕を西北方に見出す事が出來るけれど本溪湖は現在以上に大擴張をなす事は、山岳に狹められ、河流に斷られた地形より見て先づ困難らしい

▼最後に本溪湖と鞍山站との經營振りには若干の異ひがある、本溪湖は煤鐵公司と稱し、鑛石の採掘から製鐵まで全部日支合辦事業となつてゐるが、鞍山站は純然たる滿鐵の製鐵所である、併し其の鑛石の採掘は便宜上日支合辦の振興公司と云ふのを組織し、資金十萬元で經營さす事にしてある、但し此の振興公司は滿鐵系統の一私人と奉天督軍顧問于沖漢の合辦となり、其の實力は素より全部滿鐵に握られ、滿鐵の一傀儡に過ぎないのである

▼それから鎔鑛爐も鞍山站の分は本溪湖に比し、一格大きい、乃ち鞍山站は一日の製鐵量二百三四十噸に達するが、本溪湖の鎔鑛爐は一日百五十噸內外に過ぎない、そこに八十噸の差がある譯だ、で鞍山站の鎔鑛爐は二基の製鐵力が、本溪湖の三基に匹敵する計算となる

▼要するに現在では本溪湖の方有利の經營を行ふ事が出來るけれど、其の將來は確に滿鐵の鞍山站製鐵所多望なりと斷じて差支へないらしい、何しろ現代は鐵の世界である、而して今後の世界は益々鐵の需要を增し愈々鐵の世界に進んで行くであらう此時に際し、吾が勢力圏內たる滿洲に二個の大製鐵所の出現した事は、帝國工業界のために、又軍事上より見ても頗る慶賀に堪へぬと思ふ

阿部社長歸京

南北滿洲視察團幹部長として終始視察團に附隨せし阿部本社長は廿九日午後七時卅分南大門驛著視察團列車にて歸京す

▲開城被服廠委員長入京 開城被服廠委員長なる臼井水城氏は同會の要件を帶びて二十九日入京不知火旅館に投宿せり

哈爾賓より

委員の露都行

哈爾賓露商銀行社長及び輸送委員長クダシェフ公爵の兩人は廿七日金曜日の急行列車にて露都へ向け出發せるが輸送及び金融に關し現政府と協議を爲す目的なりと觀測せらる

▲芬蘭無稅輸入許可

四月八日新政府は芬蘭總督ロジチェンコ氏に對し芬蘭より輸入すべき一般貨物の無稅輸入を許可する旨命せり而して第一に輸入せられたるは自由のために活動せる巡査に支給すべき洋服及び帽子等なりしと

▲戰は最後まで

四月八日ウヤッカ市々民の工夫勞働者團體等の雇傭人委員會に於て市民は革命を擁護し戰爭を最後の勝利を得る迄て繼續し現政府と提手し勞働兵士團等の委員會と行動を共にする旨誓ひ新法規のもとに獨逸人三名を捕縛せり

▲大注文現はる

歐露の各地より哈爾賓の某露商に對し「レモンステル」『パラヴィン』等の夥しき注文來れりと

▲イ市の自治開議

四月八日西比利亞イルクック市議會に於て兵士團及び農民勞働團代表者等自治に關し會議を催せり

▲ゴンダッチ氏護送

ハバロフスク市來電に依れば前沿黑龍總督ゴンダッチ氏は新政府に召喚され露都に於て司法大臣ケレンスキー氏の裁可に依り處決さる可しと(四月生)

仁川

▲金光敎大祭 五月一日午後二時より金光敎仁川敎會所にては春季大祭執行當日は京城南大門、山、大田、全州の各敎會長並に信徒を大なる催で參列し吉備樂の奉納あれば定めて盛大なる祭典ならん祭典後は山、大野敎會長の說敎あり一般參拜者にはそれぞれ記念品を贈與するとの事なり
▲兩部長著任 今回轉任したる仁川警察署水野村田兩部長の後任として全彌氏は鍾路署より花瀬勳氏は警務部より何れも廿八日著任したり
▲裁判所觀櫻會 仁川支廳にては二十九日月尾島に於て觀櫻會を催ほしたり
▲府廳觀櫻會 植野府尹の催ほしに係る月尾島觀櫻會は前日の降雨の爲め淺岡樓に於て催ほしたり

平壤

▲學校林植栽 大同郡大聖山に設定せる平壤學校組合林及び平壤二小學及び高女の各學校林は此程ヤマツツ、クリ、ニセアカシヤ等十六萬本の栽植を了りたり
▲勸業五箇年計畫 平南にては已に第一期勸業五箇年計畫に於て第一期事業として本年度より其施設に著手するの成功を爲したれば引續き第二期計畫に著手する由なるが目下著々準備中なり年度迄は豫算の都合上出張員の如きも下各府郡に駐在勸業技術員の出張を一人に付き一箇月八日と限定し居れるも本年度よりは更に之を擴張し一箇月十二日と改めたる外必要に應じ臨時出張各種產業の指導に任ぜしむべしと
▲永源寺派管長來壤 永源寺派管長芦津實全師は五月三日午後三時滿洲よりの歸途平壤に立寄り三日午後三時及び七時よりの二回櫻町妙心寺に於て說敎を爲し翌四日午後四時より重ねて說敎をなす
▲村上博士來壤 村上專精博士は五月三日來壤櫻町妙心寺に於て四日午後七時より說敎ある筈

釜山

▲選舉名簿閲覽 釜山學校組合議員選舉有權者名簿は既報の如く調製を終了したるを以て來る五月二日より同八日迄一週間同組合事務所に於て一般の縱覽に供し六月一日午前八時より議員十六名の投票を執行すべし
▲海藻生育佳良 本年南鮮沿海に於ける海藻類は一般に生育佳良にして且つ區域も昨年に比し餘程擴張せる模樣なるが其の理由は昨年來の寒氣激烈なりし爲なるべく朝鮮沿海に於ける海藻採取は五月一日より解禁せらるゝに付き例年の通り濟州島より入込み來る海女は既に千三百餘名なる由なるが等は何れも蔚山、機張、東萊の各沿岸に於て天草、銀杏草、昆布、鹿尾菜等を採取するもの如く尙今後も多數に渡來るべし
▲新署長來往 昌德宮警察署長に轉任したる元釜山警察署長山本秀平氏は五月四日午前急行列車にて赴任し新任釜山警察署長橋本房一氏は五月二日午後七時著列車にて赴任地太田より來任の筈なり
▲部長新任披露 新任釜山道警務部長水間春明氏は二十九日來釜各官衙を訪問新任の挨拶を爲し三十日夜は釜山官民有力者五十餘名を鳴戶本店に招待し新任披露宴を開催する由

人事消息

▲森安博士(總督府醫院) 二十九日午前馬山に向け出張
▲西村道彥氏(第一銀行京城支店長) 二十九日午前東京より歸京
▲白川友一氏 二十九日午前大邱より入京吉岡町事務所へ
▲持地六三郎氏(土木局長) 二十九日午前九時十分發列車にて元山へ
▲米倉長氏(滿洲運輸本部員陸軍少佐) 二十八日夜入京朝鮮ホテルへ投宿廿九日朝退京
▲ランゲル氏(露國男爵) 二十八日夜入京朝鮮ホテルへ
▲矢部理學博士 二十八日夜內地へ
▲神林彥太郎氏(咸興炭礦社長) 二十八日夜入京不知火へ
▲庄野雄次氏(釜山辯護士) 二十九日朝入京不知火へ

◆南北滿洲視察團畫報(十)

(上)廿六日一行長春領事館を訪問す (下)廿六日午前十一時長春出發の際官民の見送りの光景

●露西亞服の鮮人生徒

滿洲に於ける唯一の鮮人學校

滿洲視察團から四百餘圓寄附

本社主催南北滿洲視察團の一行が廿三日午前八時頃鐵嶺の驛を通過した時一行はプラットフォームで盛んなる鮮人生徒の歡迎を受けた、生徒といふのは廿四五才を頭に十四五才までの青年ばかりでしかも

その服裝は 露西亞服があり支那服があり朝鮮服の周衣があり各人各樣のいでたちで尠からず一行の注意を惹いたのであつた、此の學校生徒こそは近時滿鐵あたりからも注意され始めた滿洲に於ける鮮人學校の生徒である、而も滿洲に於ては安東縣のそれを除き殆ど唯一嚆矢の

鮮人學堂で あるのであつた、それにまた面白い事は此の稀らしい滿鐵の鮮人學校長が京城の人張字根氏といふ篤志家であつて其の學校の設立費用は氏の揮毫をかいたわずかの金によつてなされたのである張氏は號を春谷と稱し京城東大門外の駱山の家に居た時から相當名を知られた人であるが昨年から支那の大陸に志し先づ滿洲の

鐵嶺に腰を 卸したのであつた然るに氏は一管の筆を携へて滿洲各地を巡歷すること一年餘にして滿洲に於ける鮮人子弟の教育が極めて緊切なる事業たることに心付いた、そこで鐵嶺の酒勾領事や伊地知署長に交渉すると何れも大悅びで大にやつて貰ひたいとの希望、また鮮人側でも在滿三十萬の鮮人の爲めに是非張氏の奮起を促してやまぬので學校は氏の苦心慘澹たる

努力により 愈よ去る四月の二十日から開校授業するとなり與當の開校式は五月一日を期して擧行する運びとなつた、視察團を鐵嶺驛に迎へたのは實にその第一期の生徒六十餘名であつたこれに就き校長張氏は曰く『私の新設の學校は滿洲に於ける鮮人教育の學校として先づ第一番であらうかと信じて居ります、學校は總て二箇年間の教育で

その中特に 日本語と支那語を第一番に教育し諸般の店舖や實業につくものゝ爲めにいろ／＼な斡旋をしようと思ひます、御承知の通り南北滿洲殊に西比利亞に近き地方から長白山をめぐる西間島の山奥にかけては以前からなか／＼頑固な鮮人が多く中には油斷のならぬ連中も居ります、殊に柳河縣には堂々たる陸軍學校の設けさへあつて移住鮮民はまた爲に餘り島渡鮮人間の大勢力となつて居ますが彼等には

充分の教育 を施す機關がありませんそれに一般が貧乏で中には同胞として見るに堪へぬ程の氣の毒な生活の者も居ります、そこで私はこれ等の連中に說いて此の際子弟の教育の爲め是非俺の學校に從つて見よと申したのですが餘程人氣に投じたと見て這回百名收容した生徒には一時を期して百名以上の申込者がありましたが私は是非共親愛なる彼等に教育と而して職業とを與へてどうか善良な人間に仕揚げたいと思ひます』と猶ほ氏は李埈公御附武官たりし李甲根氏の令弟で

一管の彩筆 を以て遂に在滿子弟の教育事業に着手した、わが視察團一行は此の壯擧に對し四百餘圓の寄附金を贈つた、また近く朝鮮總督府からも教科書を贈つて貰ひ關東都督府、滿鐵からも應援するとのはなしであつた(鐵嶺にて金谷生)

本社主催 南北滿洲視察團

▲列車中の大演說會

沿線躑躅日和＝一路朝鮮に入る

◆五龍背出發

五龍背の空は名殘りなく霽れて鍋山より昇る朝暾熙々たり一行は曉起温泉五龍閣を出で午前六時の列車にて一路朝鮮に入らんとす。國境鴨綠江通過は午前七時半なるべく、南大門著は午後七時半一行皆元氣旺盛なり(廿九日午前六時五龍背にて金谷幹部員發電)

◆鴨綠江を渡る

視察團一行は滿鐵及び五龍背温泉の多數の見送者と別れて今午前七時二十分鴨綠江を渡る

□白き河面 のジャンクの帆影に江を越ゆれば朝鮮の地なり。新義州驛に著すれば此處にて先發の團員乘込み萬歲の聲驛頭を震撼す。汽車は今道次大旅行最終日の獸を乘せつゝ一路南へ／＼と駛りつゝあり。沿線躑躅日和の

□空朗かに 所在の村に李花桃花の美しきを見る。一行は互に手を取りつゝ『矢張朝鮮が一番宜しい』と沿線の山河に懷しみつゝあり(二十九日午前十時平北南市にて金谷幹部員發電)

◆拍手喝采鳴りも止まず

汽車は今桃の宜川、錦の定州を過ぎ一路清川江の大平野を駛りつゝあり車中にては先づ全羅南道參事韓致愈氏の滿洲視察中の所感に就いて說あり。

□滔々數千言 に亘る大演說は道次大旅行に於て觀たる日本帝國の大使命を見よとて『大和魂』に就き氏一流の熱辯を振ひ亞いで辯護士崔鎭氏の演說には滿蒙無限の富と鮮人の發展すべき手段とを說きて

□日支條約に 於ける借地權を詳述し且つ支那人に就いての所感あり、更に平安南道參與官張憲植氏は今回の旅行が如何に多大の效果を擧げしか且つ大陸に於ける大日本の勢力が如何に重く且大なるかを詳說し拍手喝采鳴りも止まざる盛況也

□飛入演說者は 三氏の外にも相亞いで現はれ列車は宛然大演說會列車たるかの感あり、清川江の平野は水田に水滿々たり(二十九日午後零時三十分新安州にて金谷幹部員發電)

◆平壤驛通過

我社主催の南北滿洲視察團百名の一行は二十九日未明五龍背出發の報ありしが視察團員を乘せたる列車は同日午後一時二十七分平壤驛著 內鮮人官民多數の歡迎送を受け停車十二分間にして萬歲聲裡に京城へ向け出發團員一同頗る元氣旺盛也(平壤特電)

●岐阜縣に大旋風

二十八日岐阜縣惠那郡中津町に大旋風起り家屋の吹飛ばされたるもの十數戶負傷者多數を出せり(大阪特電)

●岡山縣の山火事

岡山縣和氣山に二十七日夜より山火事あり百餘町歩を燒失し二十八日朝鎭火す(大阪特電)

●巨刹の炎上

久留米市糸屋町明泉寺佛壇より出火し本堂及び庫裡を燒失せり損害約三萬圓の見込なり(大阪特電)

●北行列車遲發

二十九日入港新羅丸延著の爲め北行列車五十分遲著午前十一時二十分發車したり(釜山特電)

●寒傷で園花少し

京義沿線及び平南地方に於ける桃、葡萄等の寒傷は豫想以上に激しきものゝ如く花芽の傷みたるはまたしもにて甚しきは樹皮黯みて枯死に瀕せるものあり果樹園經營者は目下之れが救治に腐心し居れるが黃州附近亦甚だしき被害にて桃花を以て有名なる中和の桃園も觀桃の見込更になしと傳へらる(平壤)

◎大豹を撲殺す

平南陽德郡大倫面地方にては近來猛獸出沒し危險なるより里民は警戒中二十日夜同面水注里李明雲方に怪獸侵入し犢牛一頭を攫ひ去りたるより李明雲、李昌業、李永林、李永酉、洪永俊の五名は各棍棒を携へ之れを追跡し約十町の山中にて大豹一頭を發見し一齊に襲擊して難なく撲殺せしが稀なる逸物なりしと

♣開城の花だより

■咲き揃ふたる櫻桃は廿七日の降雨にて更に一雨に愛し八重櫻は却て盛期を早めて明日曜日には技藝學校其他の鐵道公園其他を飾るべし、桃花も雨に誘はれて咲き初めたればこれまた日曜頃より見頃となるべし

■鐵道公園下には新たに栽培にこしらへる天幕張りの休憩所あり、ビール、サイダー、[illegible]遊客の好みに應ずべく[illegible]

■彩霞洞に至りては[illegible]日本料理家屋、[illegible]一品料理に[illegible]

■[illegible]ビール、サイダー、辨當等は用意あり、其他[illegible]

■[illegible]一日の開城には何時不便を感ずることなかるべし(二十八日開城特信)

◎料理屋の樋を拔く

忠淸道禮山邑內生れの朴壽童(二七)は京城市中を徘徊中二十一日午後九時頃黃金町三丁目料理屋清華亭の樋を拔き取りたる所を同家の車夫に取押へられ本町署に突き出さる

◎『ピス』の行衞不明

市川幼稚園で飼つてある犬の『ピス』が廿七日から何處かへ逃げ出して行衞不明になつたから心當りの方は同園の電話二千六百七十七番へ知らして頂き度いとの事

◁視察團より▷

▼蘇つた哈爾賓市街

戰亂の影響

■北滿市街…■馬車と疏菜…■キタイスカヤ街の[illegible]

◇二十四日は一同朝から哈爾賓の街[illegible]を見る、哈爾賓の街は[illegible]露西亞式[illegible]松花江畔の荒野にこんな大市街を建設した露西亞人の努力は實に敬服に堪へぬ次第である、殊に今でも街はづれの野原には四方立派な街路を設けて豫定の市街地としてゐるなどはさすがに遠大の計劃で例の露西亞式だなさ[illegible]

◇露西亞人がはじめ露西亞から西比利亞に入つて滿洲に出て更に黑龍江畔から滿洲の福地に出た歷史はスラーブの偉大さを語るに充分である

◇殊に露人が初めて哈爾賓に來たのは今から凡そ四十年前、有名な露西亞の人で[illegible]人の[illegible]松花江畔の原野に[illegible]此の江畔の[illegible]

◇露人が哈爾賓[illegible]事件當時であつた、當時[illegible]哈爾賓の[illegible]最初の哈爾賓建設者は[illegible]陸分者[illegible]

◇次いで哈爾賓の發展は卅七年の日露戰爭當時であつた、當時大露西亞の[illegible]地として此の地に落ちた金は實に數億留[illegible]額に達し所謂黃金の雨がふつた時代もあつた日露戰爭後はまた一時さびれたけれども[illegible]露西亞へ行く人は是非此處を通過せなければならぬ鐵道の關門となつた

◇閑話休題、哈爾賓の名物は辻馬車と砂埃と馬の糞と露兵であらう、殊に露兵には青色の帽子に深紅の肩章、露色の服に金ピカの肩章などその色彩に至つては千差萬別、それが皆長靴で／ソ／＼と歩いて居る、近頃革命以來は此の兵隊さん達の鼻息が頗る荒くなつたとのこと、兎に角兵隊はどんな所にも居る、甚だしきは停車場の喫茶店の入口にまでも銃劍をつけて立てゐる

◇新市街は總て官廳、會社等が多く就中最も堂々たるものは東淸鐵道廳である長官ホルワット將軍は革命派に約疑したといふはなし

◇街はまた總て廣い庭にヴェランダを出して建てた家が多く此處で一家團欒し永い冬の蟄居から放れて盛んに庭の草花を賞するとはさもあるべき事である

商業及法人登記公告

[illegible]

法人登記公告

[illegible]

京城地方法院 漣川出張所

京城地方法院

[illegible]

ダリヤ・カンナ カタログ無代進呈 京城大門外竹添町二丁目 京東 千草園分園

亞鉛、銀鉛、銅、鐵鑛 右の鑛種に對し 鑛區買入(許可鑛區先願權) 融通鑛物買入 經營資金 京城明治町一丁目七番地 正巳鑛業所 電話(マ)又は(マサミ)電話一五九

富の道しるべ 山縣五十雄 村上濱吉共著 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 [illegible] 京城日報社代理部

寫眞機 寫眞材料 京城府明治町二丁目 長崎屋商店 電話二二〇番

十週年と支那料理 料理人を天津より呼寄せ料理其他に大改良を加へ(大好評を博)すると同時に十週年自祝の爲特別大勉強仕候尚ほ出前、宴會も同樣御用命奉願上候 京城太平町 電一四四二 麗華園 楊本賢 敬白

婦人世界

子供の問題 子を愛し其幸福を望む親は必ず一讀あれ…島峰博士 倉橋學士

精神療法 …三宅博士 中島博士

掃除の研究

[illegible]

五月號定價十七錢 郵税一錢五厘 半年一圓[illegible] 東京京橋 實業之日本社 振替東京三二六

移轉廣告 今般京城大和町一丁目四十四番地に移轉致候 (元京城長谷川町五十八番地) 株式會社大倉組鑛山部京城出張所

縮刷 時務一家言 蘇峰 德富猪一郎著 (定價六十錢)(郵税六錢)

天覽台

時務一家言は著者が思想經綸の大綱を提げ、所謂教育、政治、外交、社會、經濟、軍事、等有らゆる方面の問題に關し[illegible]

發行所 東京市京橋區日吉町 民友社 振替口座一三一〇〇番
賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番
大取次 大阪屋號 日韓書房 鮮松堂 各地支局書肆

醇良無双清酒 無害衞生 品質無双
醸造元 福岡縣城島町 首藤合名會社
發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 長電話一七一一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

外科 一般花柳病科 內科 一般皮膚病科 普通及隔離病室完備 診察夜九時迄 京城旭町一丁目(本町より左に入る) 島崎病院 電話二七三六番

●妻を絞め殺す

平北碧潼郡碧北面吾下洞金昌運(三〇)は妻金氏(二二)が性來愚昧にして愛情[illegible]ゐるより碧潼憲兵分遣所にては憲兵出張檢視の結果他殺と判明し昌運を引致嚴重取調べの結果絞殺したる旨自[illegible]

[illegible]住小峰弘(三四)愛媛縣喜多郡五城村生れ三角町居住彫刻業西野德市(四〇)香川縣中多度郡六郷村生れ明治町一丁目[illegible]都市上京區加茂東古門前石橋町生れ花園町居住彫刻業藤田政太郎(三三)等は四月十三日午後七時より十一時半[illegible]

●時計商工大運動會 京城時計商工組合にては定期の春季大運動會を五月三日午前十時より獎忠壇[illegible]

●連絡船上陸客 [illegible]帳場の人力車を署內に集め定期檢査を施行中 四月廿八日

[illegible]

天氣 晴れ時々曇り 四月三十日(廿九日午後六時より三十日午後六時迄)

[illegible]

…なく夫婦の間に幼兒もなきより常に…縊ひ居りしが四月九日夜同衾中喧嘩し…を以て金氏を殴殺して縊死したる如く假裝し置き憲兵所に届出でた…白するに至り身柄は檢事局へ送られたり

●博徒六名一網　大阪西區新町南通五丁目生れ京城本町五丁目居…目洲棠屋松田德太郎(三)佐賀縣杵島郡須古村生れ明治町一丁目車夫前田龜之助(三八)福岡縣三潴郡大善寺村黃金町五丁目口入業川原信太郎(三)外…迄前記西野德太郎方にて現金賭けの博奕を開帳中を本町警察署の巡査に踏込まれ悉く引致取調べの上檢事局へ送らる

…に於て聯合諸種の競爭素人義太夫等の催しある可しと

●京城の車輛檢査　京城本町警察署にては數日より管内各…所轄警察署にては…

午前九時二十分釜山入港高麗丸一二等客 (一等)二名(三等)きよ、戸島鍋太郎(二等)五十三名…

ちよいばなし　けちんぼのお金

ある所に、お金持ちのけちんぼがをりました。お金が手に入れば直きに金庫や、手提金庫の中にしまひ込んで、よく〳〵のことでなければ、決してお金を出しませんので、お金は日に〳〵たまるばかりでありました。

けちんぼに、ため込まれたお金どもは、

『つまらないなア。ためるばかりで、出すことを知らないけちんぼ主人はいやだなア。どうかして逃げ出したいなア。逃げ出して、天下のお金らしい働きをしたいものだなア』

と、こつそり相談をしてゐましたが、金庫の錠はいつもきちんと鍵が掛けてあるものですから、逃げ出さうにも、逃げ出す隙がありません。けれども手提金庫の蓋には、寢る時鍵を掛けるだけで、晝間は蓋をしてあるばかり。逃げ出すに左程骨は折れません。

おまけに、ある日のある時、けちんぼ主人は、手提金庫の蓋をあけたまゝ、二階に上つて、何か用をしてをりました。

手提金庫の中に入つてゐた百圓ばかりのお金どもは、顏を見合せて、

『さあ、今だ〳〵。逃げ出す時は今だ〳〵』

『本當に今だ〳〵。蓋をされては、逃げ出すのに、いくらか不便だ。さあ飛び出せ〳〵』

と十圓紙幣を眞先に、手提金庫の中から、大勢のお金どもが飛び出して思ひ〳〵に、自分逹の好きなところへ逃げて行つてしまひました。

けちんぼ主人は、お金どもが逃げ出したとは、少しも氣付かず、二階から下りて來て、手提金庫の中を見て大びつくり。

『おや、一文も殘さず、誰か盗んで行つたなア。大變だ〳〵!!』

と騷ぎ出して、警察へ届けるやら其處ら中探すやらして見ましたが、お金のありかは、とう〳〵知れつこなし!!

けちんぼ主人は、しよげ返つて、

『あゝ、飛んでもない目に逢つたなア。でも、金庫の中のお金を盗まれずに好かつた〳〵』

と云ひながら、金庫の戸をあけて抽斗の中から、お金を取り出し、

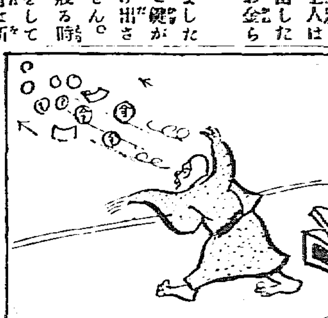
『大分たまつたぞ。人からけちんぼ〳〵と云はれても、お金さへあれば大丈夫、いつ眺めても、お金の顏ほど愛嬌のあるものはないなア』

と、ひとりごとを云ひながら、ちよいと油斷をしてゐる隙に、金庫の中のお金どもは

『さあ逃げ出せ。今だ〳〵』

と我先きに逃げ出しました。けちんぼ主人はこれを見て、

『アッ!どうする〳〵。お大變!』



と急いで金庫の戸を締めて、逃げ出したお金の後を追ひかけましたが一圓紙幣一枚にも追ひつかずに後戻り!!

『何のこつた。お金が逃げ出すなんて云ふ話は今までにないことだ。あゝひどい目に逢つたなア』

とけちんぼ主人は、ため息を吐いて居りました。一方けちんぼ主人の金庫や、手提金庫の中から逃げ出したお金どもは、病氣で寢てゐるひとり者のお婆さんの家や、親孝行で貧乏な親寶りの子供の家や、養育院や孤兒院などに駈け込んで、

『どうぞ、私どもを御遠慮なくお遣ひ下さい』

と云つて、自分々々の好きなことに遣つて貰ひましたとさ。

●青木畫伯の展覽會

衆目を惹いた作品　今回…樓上で開會中の青木…氏の洋畫展覽會は二十九日から一般公衆の展覽に供して居るが…は三階陳列の作品は總て八十餘點…春の陽に映じて宛ら花畑のやうに美しい、八十餘點の中殊に集目を惹くのは「黒の顏」「雪の朝」…英國の丘」「夏木立」「ロンドンの朝」「英國の丘」「京城宮の裏」などで中でも「英國の丘」と「ロンドンの朝」は共にクラシカルな畫品を有た好い作である「清凉里」は如何にも春らしい爽かな氣分に共鳴せしむる樂の出來る輕い筆で「雪の朝」は小雨ながら却て雄大な感じを起させる、廿九日は日曜の事とて參觀者は朝から陸續と詰め懸けた…入の盛況も評判見受けられた、午前十時頃…者が觀いた時には既に大半の賣約濟の赤い札が張られて居たが、此の模樣では最終日の五月一日迄には更に補充させねばなるまい、畫伯は本木…氏は…らしい試みとして參數點の油繪を日本人に表裝して居たが一寸風變りで是なら純絲の日本間の裝飾としても好く調和するだらうと思はれた

◇松花江々畔から

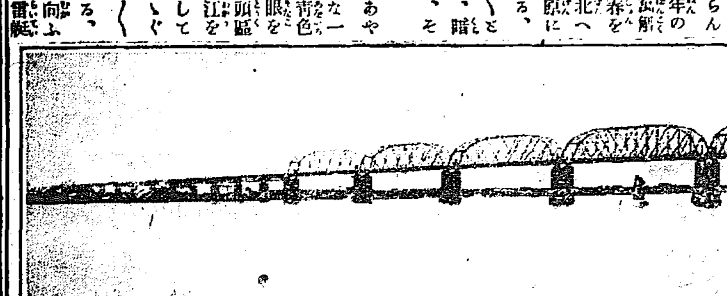
▽視察團の哈爾賓見聞記(二)

『ガモウゴ、ゼンギ、フカルマン早く錦を故郷に、著てかへらんと思へども渉るに深き松花江』あり!!松花江の流れよ、その汪洋たる濁れる水に泣くものは豈それ獨り天草の

◆可憐なる少女のみならんや、風蕭々として易水寒し、當年の神、橫川の壯烈にも日本男子は斷腸の涙をそゝがざるを得ない、長春を出た東淸鐵道の汽車が一路北へ北へと哈爾賓に向へば廣い萬里の平原に松花江の流れがゆるく見ゑて來る、鎌のやうな三日月の齒!!チラ〳〵と地平線上に輝きそめし星の數々、暗い原野をトボ〳〵と行く苦力よ、それは

◆當年の志士の姿かとあやしまれる、客車の入口には巨きな一人の露兵が立つた、長い銃劍と青色の帽子、兵隊さんは鐵橋警備の眼を輝かす、哈爾賓の一日自分は埠頭區の通りから出て高き河畔に松花江を見た、源を北朝鮮の長白山に發して遙に黑龍江からオコツク海にそゝぐ松花江の流れは今しゆるやかに〳〵

◆千里の原を流れてゐる、見れば河には渡し船が居る遙か向ふには二階付きの白い河蒸汽と水雷艇



松花江の鐵橋

(前掲の話は嬰兒を壓殺の後に在り)

れにまた下流の方には長い〳〵鐵橋が横はり橋の上には今しも露西亞へ向ふ軍用列車が通る、橋の長さは約廿一町、その向ふには製糖會社の煙突がチヨコナンと

◆地平線上に立つてゐる、江岸松花、黑龍兩江の沿岸に輸送せらるゝ莫大な商品は此の地方の大豆や小麥と交換せらる、埠頭の下流は支那町で繁昌の傳家甸、街の名は恐らく露那條約當時ムラヂヨク氏なる…に因るものであらう、…に向けてブーチヤチン提督の記念であらう、松花江の流れと大露西亞が此の方面に新らしい勢力を築いた不斷の努力然り半世紀間の

◆偉大なる努力!!　汀畔に立つて萬里の平野をのぞむ者は當年の露國の眼前に見るが如き心地がする、「今年は雪が尠なかつたから夏の江水は減るでせう」とは哈爾賓の人の御話、夏の雨時は岸ひた〳〵の濁流が流れる、流れの末はまがり〳〵てオコツク海の碧水に入る、序に松花江には化物のやうな魚類が居る、中にも冬の氷上から釣りあげられる河鰉には長さ二丈餘の巨大なのがあつて釣糸の代りには大きな麻繩を用ゐて

◆氷上に馬の力　で引きあげるといふ、また松江の鱸は謂ゆる讀江の鱸で名物、支那人は贅花と稱して一尾廿哥位ゐで與れる、また六七尺の鯉から一丈二尺もあらうといふ大鯰(一丈ゝ鯰とは少しちがふ)そ

(二十四日、ハルビンにて金子生)

◆鴨綠江の筏流し

初下りは來月初めか

筏師を以て有名なる國境鴨綠江上流よりの筏流しは目下大部山間の輸送が終りたる模樣にて流筏は五月初旬より開始さるべく中旬頃は最も盛んにして壯觀を極むるならんと

◇郊外の春

飛龍臺の無名庵　東山農場の春色

櫻の花で敵はれた東公園から花町道路を東に東山農場を訪ふ、郊外の春色は醋けて畑や田のくろは春草に肥ね、胡蝶が可憐な菫や名も知れぬ草花を慕ふてもつれ〳〵て飛び交ふ樣は爲の推移の著しきに驚かされる程である、畑から海岸に出てだらゝ坂を登ると左手の松林に紫の瓦の殿、雅致に富んだ朝鮮式の建物がある、丸太門を潜して中に入ると展望と納涼に適した御室式の建物で此處から四方を眺めると南に東山農場、東に內港一帶、西に仁川市街から朱安、北に重疊起伏の山々を一眸の内に收める事が出來る、處は飛龍臺、建物は無名庵、加來氏が數奇を凝して庭園として此の高臺に作つたのである相な、桑名の別莊は殆んど櫻に埋まつてゐる程で全山花雲映發して美觀を呈しつゝ有る東山農場に入ると目下梨林檎葡萄などの剪定中で百名からの人夫は廣大な果樹園の中で作業してゐる林檎の芽はもう萠わ出て梅の花も氣紛れて咲いてゐた南に面した農場の高地で遙かに南東の方を眺めると文鶴山及び大小の山々は指顧の中にあつて其の麓の入江には滿潮時の波がひた〳〵と寄せてゐる、山と海、海と花、何れの眺めも美しい東山農場は仁川の近郊として家族打連れ立つて半日の清遊を試みるには最も適してゐる(仁川)

●嬰兒を壓殺

忠南公州郡正安面大山里餅商崔姓女(三九)は同地李德仁の妻なるが夫德仁は明治四十三年陰四月二十日頃家出し行先不明となり爾來寡婦同樣孤獨の生活を爲し居る中大正三年陰三月末頃より同面廣亭里朴聞發と關係したる結果翌年陰正月上旬男兒を分娩したれば朴と謀りて襤褸にて嬰兒の顏面を被ひ呼吸を防止し更に蒲團を以て全身を包みて窒息せしめ死體は翌日朴聞發をして埋葬せしめ何喰はぬ顏して暮し居たるが其の後大正五年陰三月初旬頃より又復同面廣亭里宋秉浩と情交を結びて姙娠し同年十二月二十七日夜自宅に於て女兒を産み又々窒息せしめ木綿の襤褸にて死體を包み自宅の前畑に子供等が遊戲の爲め堀りたる穴に一旦埋沒せしも發覺を虞れ翌曉李允應(三)をして自宅を距る西方約九十間の山腹古墳墓の側の穴に投棄せしめたるを此程公州警察署の知る所となり取調べの上十六日同事局へ送致されたり

●蹴倒して逃ぐ

黃海道海州郡龍淵面西野村里洪順根(三八)は海南面梧南里李善汝(三)が獨身者なるを探知し十四日夜侵入して毛布一枚を竊取し立去らんとする所を歸來したる善汝に誰何されたるより俄かに同人を蹴倒して逃亡したるも順根は十七日海州署の手に捕はる

●聯合會二日目

素人義太夫聯合會の二日目は奈良梅、祖太夫、背登、龍糸、文平各師匠の出勤にて其語り順は左の如し

▲御祝儀(桂月)▲百度平住家十六(奈良梅)▲大功記十段目(祖太夫)▲辨慶上使(背登)▲加賀見山(祖太夫)▲新口村(奈良梅)▲菅原(龍糸)▲…(文平)

可演藝案内

有樂館
京城本町一丁目　電話一〇五番

二代目桃中軒雲右衛門一座名披露興行
四月二十九日より五日間限り
▲初日讀物▼
▲義士銘々傳(桃中軒…)▲[illegible]▲紀伊國屋文左衛門(京山花右衛門)
▲俵星の義心
▲雲右衛門初日の讀物
入場料　一等…二等…三等…

浪花館
明治町　電話二六〇
東京大阪合同…
◎五月四日より活動大寫眞と大餘興
◎期待せよ內外共に充實せる有樂館…

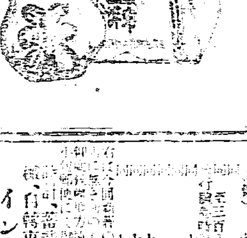
大正館
櫻井町　電話八七三
日本活動寫眞株式會社…代理店
△四月廿七日より新寫眞提供
▲尾上松之助一派出演 ▲舊劇長崎小町…
○新派悲劇「…月」(全四卷)…

御成座
御成町　電話二九一
第十二回番組
一、伊達の浮橋
二、夢の國
三、佛國式奇術(松井天外出演)
全八場　全四場
…

黄金館
電話二六三七 六五二
天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
△四月二十七日より新しく
▲世界的大滑稽チーの逃走…
▲舊劇「姐妃のお百」(全二卷)…
▲新派悲劇「白梅」(全三卷)…
▲大西洋…
▲大除興一ツマ…

特約店

小資本を以て急速の成功を得可き一村一名限りの特約組合店及び莫大の收入ある二郡獨占支部募集案内東京神田萬世橋際日本通商聯絡株式會社



高貴御料

ホーカー白粉

千金の値ある春の宵に

若柳の影にゆらめく街燈の灯に映りて、眞に床しく美しいお化粧顏にあるやう……

春宵のお化粧料として眞に申分のないこの白粉をお勸めいたします

新發見!!

これは本品愛用の…同時に…

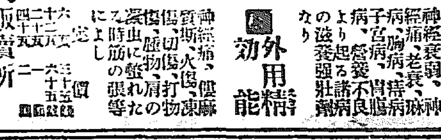
▲ノ明ノビ優れて今までの白粉とは塗けた白さが異ひます
從來の白粉のやうに…白さに…たりする如なことは決してありませんが誰れが見ても眞に美しいと言へる白さに塗くのが此白粉の特長で他の白粉の眞似ることの出來ない所です

▲不思議に襟を汚しません
怎んなに濃化粧をしましても決して大切な着物や襟に汚れ著くといふことのないのが此白粉の不思議な特長でムいます。

一函 二十五錢

東京神田鍋町角
本舗　堀越嘉太郎商店
ホーカー液　ホーカー白粉　ホーカー美髪液

朝鮮總督府許可



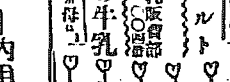
■內用　精能効
神經衰弱、老衰、痲痺、經痛、胸病、腸病、不良、子宮病、貧血、…

■外用　精能効
神經痛、火傷、凍傷、切傷、打傷、虫傷、腫物、筋の張れ等

定價…

人參直取引大販賣所
朝鮮名產人參エキス製造本舖
京城本町一丁目　津村兄弟商會
京城本町一丁目　津村商會人參部

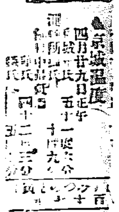
支店　龍山支店　大邱支店　釜山支店



長壽の妙品は「ヨーグルト」
京城若草町　荒井牛乳販賣部　電話一〇〇四番
荒井の牛乳
滋養・健康の母

新荷著　懷中時計

本店　京城本町二丁目　電話九七二番　イングレッシー商會



豫報 …

京城溫度　四月廿九日正午…

明君道中記

第百三十席　田邊南龍口演

大久保彦左衛門は先手に進み 彦「アイヤ方々早まつたことをしてはならん、何事も彦左衛門の指圖に從ひ擧を遂げなければならん」と皆々を制し大音揚げて呼ばはるは 彦「ヤア〳〵何故あつて往來の妨げをいたし候ぞ、此度松平越中守急用あつて江戸表へ罷越す、與打の道中道を開いて通せ」此時に曲者の中に一人進みあつて「越中守とは何事ぞ、其の御輿物には當將軍御召しと見奉る。我々共關ヶ原大坂落後の浪士にして徳川に怨みある者、貯へたる鎗砲を參らせんと心得る」彦「アイヤ心得違ひをいたされるな、松平越中守に相違無し」○「越中守とあらば緊がる徳川の門葉、越中殿の御首より先へ申し受けん」と曲者共一同槍薙刀を閃かして詰てかゝる、彦左衛門も最早是までと 彦「ヤア〳〵各々欺くだけは欺かんと思ひしが斯く成つてはいたし方が無い、各々が修練の切先目に物見せて遣はせ」と下知をいたしたから心得たりと麾下の面々パッと羽織を脱ぎすてれば下は用意の玉襷、笠を揃つて鉢巻し一刀を拔拂ひ曲者の中へ水野十郎左衛門、栗松又四郎、近藤登之助、白旗三左衛門、阿部四郎五郎、池田伊兵衛、諏訪數右衛門なぞも腕に覺ねの者總數、切尖揃へて斬り込みました、是を見ると御輿物の後を固めて居つたる松平紋太郎、大島運四郎、伊賀伊左京亮、三枝金左衛門、加賀爪甚十郎なぞが出やうとする時に大久保彦左衛門が是を止めた

○「老人何故止める」彦「されば敵は是ばかりでは無い、追つては二の目が出るであらうから其れまでは決して出てはならん、其の二の目の勢を喰止めるが各々の役だ」○「然らば出ては惡いのか」彦「如何にも」○「先手の戰を見物して居るといふのは情けない話だ、出るなと云へば拙者は止らうが腰に帶びたる金剛兵衛が出たがつて呻吟て居ると刀を拔て振廻すから 彦「危い〳〵刀なぞを振廻しては叶はん、今に貴公達の相手が出るから其の時には充分に働け」と彦左衛門は是を止めて先手の樣子を窺つて居りまする、此時將軍家は御輿物の内にて是を御覧になつて勇しいことに思召し、柳生但馬守、小野治郎右衛門の兩人を召されて 家「其方共兩人先手へ出て曲者共を斬て捨ろ」と仰せを受けたる柳生、小野の兩人が刀を拔き揃つて先手へ進んだと思ふと、治郎右衛門が忽ち一人の者の首を討落した、續いて柳生但馬守も一人推參と云つて同じく一人の首を斬落す、何にいたせ此の兩人は劍術の開祖とも云ふ樣な人であるから敵と見るより右と左へ切拂ひ電光石火雷の如き早業目にも留まりません、三十や五十の人間は此の二人で澤山でございます、此の勢に恐れてか曲者は後へ〳〵と退る樣子、此の有樣を見て水野十郎左衛門、白旗三左衛門、近藤登之助、池田助兵衛、栗松又四郎等を始めとして四谷大方白柄組、金の入簡組、公方の尻押組なぞと云へる面々其の勢の劇しいこと、最も寛永の時代大名といふ者は卑劣だ、織田の盛んなる時は織田に從ひ、豊臣が盛んなれば是に附屬し、又徳川の世となれば徳川に附屬する內股膏藥、旗下は其樣事は無い與に立ち與に仆れんといふので大名なぞとは違つて居ると云つて各々腕を振つて居る時分で、かゝる威勢の面々滞留しき戰をいたしまするのを家光公は御輿物より御出になり輿物の家根に左の手を掛けて見てお在遊ばすと中にも石川八左衛門なぞは一刀を拔す手明の松を根こぎにいたし土の附いたる儘是を振つて曲者の中へ乘込んで四角八面に薙什しまする

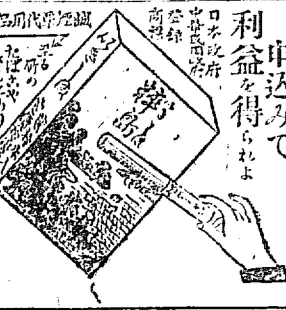
暦

五月一日九星
舊三月十一日癸卯
本命七赤西北先勝

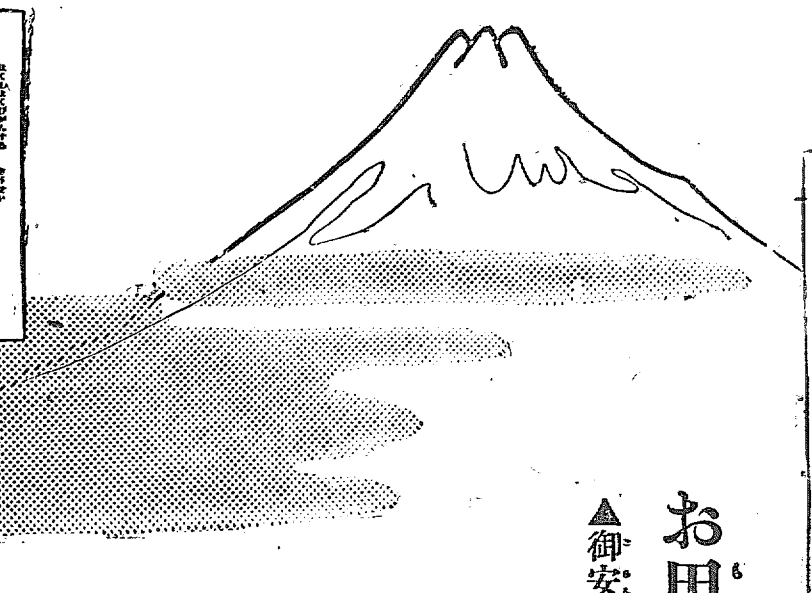
▲七赤 向ふ見ずの事有る日、差付て新事見合南方は吉、腹合西▲八白 夢收の日、轉居出、漁求職名引金談、棄物旅行、給旋婚姻吉▲九紫 一生はんまな事有る日、新事手控損事は動なし▲一白 心炎の日、轉居開業入門名弘出船婚嫁證金談旋旅行入學求職、金貸出、追婚嫁に妙▲二黒 滿數日轉居[illegible]吉▲三碧 莫迦〳〵敷事有る日、新事手控損事は吉なれど無益の散財を防がるべし▲四緑 から日新事手控損事は吉引き相談に乘る勿れ▲五黄 鬪法の日轉居旅行出漁名弘求職婚嫁吉▲六白 訴訟の和な調ふ等萬吉、開店和談[illegible]自ら盛んなる日萬進んで利有り殊に女子の婚約なお妙也

ハカリ油　小賣　吉尾商店　京城本町二丁目　電話二四八四番

▼大急告▲
全國商業家各位にして今到る處で飛ぶが如く賣行き煙草專賣局法に抵觸せず最も安全に賣れる
今や東京始め全國で大評判……
今日直ぐ專賣元に申込みて利益を得られよ



日本政府 中華民國 登録商標
見本は郵券十二錢
東京本所 二の橋角 電話本所三六八六 一五三九 輝島專賣所
西總轄支店 大阪市東區南久寶寺町心齋橋筋



▲斯うもお化粧は樂しいものかと

白色美顔水

お用ひの方は仰せられます

▲御安心で、御便利で實益の……白色美顔水▼

御安心です……何故なら白色美顔水は普通の水と白粉とを混ぜて出來た樣なものと違ひ、極めて有効な美顔原料で、或特種の白粉を溶解して創製したものですから決して顔を荒したり、白粉燒けしたり、又は白粉が剝けたりする樣な心配がございませんから!!

御便利です……何故なら白色美顔水は液體なので例へキメの荒い樣な方や白粉のツキの惡い方々の皮膚にも能く伸びて、すつかり行渡つて、ムラといふものが無く、そしてお急ぎの時なぞにも手間が要らず直ぐ樣お間に合ひ、極めて上品なお化粧が出來ますから!!

實益です……何故なら白色美顔水は、斯ういふ安心な、便利な化粧料でありながら、値段が高くなく、そしてホンの少量使ふだけで立派な、美しいお化粧美を現しますから!!

されはこそ……白色美顔水は大變な人氣になりまして、美顔白粉ともゝ、貴き御方々の御用を拜し、一般上中流の御家庭にも是非無くてならぬものの一つに數へられて居ります。現に何處の化粧品店でもお尋ねになりましても、非常な賣行であることがお解りになります。

◎白色美顔水を創製したる 桃谷研究試驗部
▲顧問 藥學博士 丹波敬三氏　醫學博士 山本淳二氏
▲主任 藥學士 桃谷幹次郎
▲技師 千葉醫學專門學校藥學士 小磯勝次郎　仝藥學士 齋藤鋭助　理學士 西澤勇志智　醫學士 藥學士 米倉昌達
（新任）

大阪 東京 桃谷順天館

2577.31.1

宇佐美内務部長閣下題字　小原地方局長閣下序文　京城日報社編纂　一　袖珍

府及學校組合法規提要

▲定價金壹圓廿錢　送料本社負擔

內容
勅令、制令、府令、訓令、通牒等苟も府制及學校組合に關係ある法規は細大之を網羅して漏さず就中卷末に添附したる例規の如きは最近七月に發布せるものまでも收めたるを以て府及學校組合は固より內地人各學校教員、組合會議員其他關係者に取りては座右必備の良參考書たるは言を俟たざる所也

裝幀
携帶に便ならしめんため製本を袖珍としたり紙數は三百餘頁總洋布天金裝金文字入りの頗る美本なるに加へ殊に改正法規其他必要事項の記入に便せんが爲め每頁の上部約一寸五分を餘白とし更らに卷末に十數頁の白紙を綴込みて備忘要欄に供したるが如き以て本書編纂上に於ける用意の一端を窺ふに足る

大賣捌元　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

贊化病院　京城本町二丁目　電話二四二番
內科　小兒科　入院隨意　每日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治　醫學士 上野亮藏

眼科專門　入院隨意　京城明治町東拓横（電話二〇四四番）
江頭眼科醫院　日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

各種萬年筆即時修繕　京城旭町二ノ六　東京パイン萬年筆出張所

內科　胃腸病　診察夜九時迄
京城本町一丁目　石川醫院　電話二七二九番　一三九〇番

京城日報
四月十三日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金五錢　一ヶ月金七十五錢　三ヶ月金貳圓二十錢……
廣告料　……
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之助
發行所　合資會社京城日報社　京城太平通一丁目
電話番號　……

○露國政府獨人に警告

……（露都電報）

○浦鹽に總督府設置

露國臨時政府は浦鹽に總督府特設の必要を認め該總督に……コフ氏を推薦したりと（露都電報）

○林公使の督軍招待

……（北京電報）

○支那實業家視察

……懇談會は六月十八九日東京大會……役員全部の改選を行ふべしと（東京特電）

……の支那人なる洪某外十餘名の實業家は東三省の開拓其他視察の爲め二十八日北京より奉天に來著支那官民の……

……興亞實業にて有名となりし……高山鑛は五百五十萬圓にて……行に買入の假契約を締結せり（北京電報）

海印寺及其附近

蘇峰生

今朝は愈よ海印寺を往訪可致豫定也。今其名殘として、更に譽上致候。

四月十九日は、寺僧の案内にて、寺域を一覽致候。見る可きものは、申す迄もなく藏經閣也。閣は大寂光殿の後。小高き地を占め、二棟並行し、各間口三十三間餘、奥行五間、中央及び壁際に架を設け、之を五段となし、毎段兩面より縱に、板木を排列致し居候。而して更に架頂にも、積み重ね候。其の空氣の流通宜しく、濕氣を豫防したるの樣は、何となく我が南都の正倉院を聯想せしめ候。此の建物は李朝の初期なれば、約五百年前かと察せられ候。板木は後來修補したる、極めて少數を除けば、高麗朝の高宗が、約十五年の經營によりて成りたるものにして八萬六千六百八十六枚と稱したるも、現在は八萬一千二百五十八枚也。板は縱七寸二分、横二尺二寸五分、厚一寸二分乃至一寸五分、兩端に止木を插め、四隅に銅製の金具を裝び、全面に薄く漆を塗れり。而して兩面とも、彫刻しあり。用材は梓なりと云ふ。如何にも用意周到にして、約七百年を經たるも、殆んど何等の狂ひを生ぜず。驚嘆の他なく候。

海印寺邊花欲然。藏經閣聳翠微巔。
鳳凰回避兜率火。鬼護神呵七百年。

古來より此閣の上には、鳥さへも止らずと云ひ傳へ、庫中、鼠も居らず、蟲も住まず。如何にも氣持好き程に清潔也。此れより附近の末寺を巡覽す。海印寺は山林三千一百八十七町餘、田畑約三千斗落を有する大地主にして、其の建物の如きも、二千五百餘坪を占め候。途中の光景は、人をして坐ろに小金剛の感をなさしめ候。滿山老松、赤松あり、五葉松あり、拱す可き山櫻あり、櫟あり、榧あり、而して楓樹尤も多し。秋景想ふ可し。予は途中大なる櫟木を、寺男が伐り倒しつゝあるを見、寺僧に向て、其の濫伐の不可を説き、殊に大樹巨木は、別して愛護す可き所以を解示せり。寺僧は瓦を燒く爲め已むを得ずと、辯解致し候得共。兎も角も朝鮮人が、樹木に對して、愛情なきは笑止千萬也。午後よりは寺の正門を下りつゝ、約一里の紅流洞に遊び候。此の一里間は、殆んど絕景の也。紅流洞には、新羅の詞人崔致遠の祠堂あり、又た籠山亭あり。此邊水石相激して、頗る奇觀を極む。致遠孤雲と號す。唐に入りて進士に及第し、節度使高駢の書記となり、黃巢を伐つの檄を作りて、文名を逞うす。其の歸國するや、新羅王の怒を避けて、此地に隱棲したりと云ふ。其詩に曰く、『狂噴疊石吼重巒。人語難レ分咫尺間。常恐是非聲到レ耳。故教ニ流水盡籠一レ山。』と。是れ籠山亭の名ある所以也。予敢て其韻に次して曰く。

伽倻鐵刹挿ニ屛巒一。松逕斜通ニ水石間一。
試問ニ孤雲棲遯跡一。不レ言相揖有ニ青山一。

と。伽倻とは此の山名也。然るに此の紅流洞の溪中の石を、頻りに切り出しつゝあるを見る。就て質せば崔孤雲の子孫が、此處に石碑を建つる爲めとの事也。此れは奇特の事としても、此の風致を損する仕打、如何にも苦々敷事に候。先日京城附近の洗劍亭の石をも、勝手に切り出しつゝあるを見たり。朝鮮隨處に石多し。何ぞ殊更に風致を損して迄も、其石を切り出す必要あらん哉。昨夜は同行者諸君の爲めに、惡筆を揮ひ候。夜中溫突に燬たれども、山氣肌に沁するを覺え候。今や出立す可く馬夫共窓外に喧きつゝあれば、此にて打止め候。不一。

大正六年四月廿日、即ち總選擧の當日午前六時、海印寺四雲堂の一室に於て

遊支所感

（一）目的及び行程

漢城銀行專務　韓相龍氏談

△視察の目的　朝鮮は地理的關係上支那に對しては最も密接の地位に在り、殊に歐洲戰亂の際日支貿易は愈々進展を告げ、鮮支間の取引も亦た從つて頻繁にして經濟上益々近接の度を加へ來れると共に一方滿洲方面に於ける移住鮮人數の如き今や鮮少ならざるものあるを以て、嘗て此れ等の狀況を視察せば將來に資する處尠からざる可きを思ひ、遊志禁ずる能はざりしが幸ひ過般其の機を得て漸く宿志を果すを得たり、而して予の此の行旅、頗る在支在滿鮮人等の歡迎する處となり、又た各地領事館に於て多大の好意を表せられし事は予の欣幸且つ光榮に堪へざる所なり、蓋し前者に在りては同地方面に於ける在住者數三十萬を越ゆるも、未だ鮮人にして之れが狀況視察を試みたるものなく此の點に就きては在住者等何れも久しく不快を感じたりしに、今回予が多少其の實情を觀察す可きを思ひ、又た在住鮮人等の身分を內地人官民に紹介の勞を執れるが爲めにして、後者に在りては從來官憲は在住鮮人に對し各方面に於て種々の利便を圖り居れるも鮮人等は未だ之を知悉するに至らず、意志の疏通完きを得ざるを遺憾とし居たるに、予が今回の行に於て多少鮮人を紹介せる結果、其の機を促進せしむ可きこと鮮少ならざる可きを思惟されたるに因る、予不敏にして之れ等の期待を果すこと多からざりしは慚愧の至りなるも、假令些末と雖も茲に裨補する處あらば幸にして行旅の目的は既に其の大半を遂せるもの、以て私ら慰むを得可きか

△視察の行程　予等が行李匆々京城を發せしは三月一日なりしが先づ奉天通過天津に直行し、夫れより北京、鄭州、河南、漢口、長沙、湘潭、大冶、上海、杭州、蘇州、南京、各地を歷遊し、曲阜、濟南を訪ふて青島に出で、又た大連、旅順、營口を巡りて奉天に赴き、更に北行長春、哈爾賓及び吉林地方を視察したり、此の行費せし處の日時實に五十有一日、たゞ行務の都合上、本溪湖並に撫順を逸せしは遺憾なりき。抑説予は貴紙を藉りて此れより視察談を試みむとするも、今回は差し當り之を南北支那方面の概略に止め、滿洲地方は更に他日を期して其詳細を敍述す可し、何となれば滿洲は南北支那方面に比し朝鮮に對しては殊に密接の關係あり、在住鮮人の如き亦た頗る多數に上るを以て到底一朝夕に盡す能はざるものあればなり

京城日報社主催
家族的大野遊會
五月六日（日曜）纛島にて開催
京城日報社
每日申報社

大阪より

△舞鶴港利用策　舞鶴築港利用策として從來種々畫策されたるも實行の運びに至らずして今日に到り二千餘萬金を投じたる築港も殆んど棄てゝ顧みられざる現狀なるが舞鶴築港最初の目的は言ふまでもなく日本海の橫斷航路にありたるものにて其目的を達せずして漁港として活用せん等企畫さるゝに至れるは遺憾の極みと言ふべく朝鮮にては一日も早く橫航路を實現せしめんとて從來屢々運動され居たるが同地清會鐵道は明年七月頃を以て全通すべく此鐵道にして開通せば日本海橫斷航路の開始は一日も忽諸に附すべからずとて元山港商業會議所築港會等にては此程來之が開始運動を始め居れるが最近原田朝郵社長は明年七月頃になりて清會鐵道が全通するとならば會社は裏日本と北鮮間に定期の發著航路を開航したい希望を有つて居る之が試航として同鐵道全通前に臨時日本海航路を運航さしたいと考へ傭船を詮議して居る元來日本海橫斷航路は多年の懸案で敦賀の有志北鮮の實業家からも會社は一再ならず開航希望の交涉を受けて居るのであるが果して如何程の船で月に何回航海し何のやうな算盤となるか缺損は覺悟の上でも程度問題である然し大した喰込がなければ經營して見たいと思つて居る此の航路は乘客は大した事はあるまい唯荷物は北鮮より生牛大豆鑛物があり北日本より日用雜貨其他の入荷が必ずしも少くはなからうと思ふ云々と語り居れるが朝郵社にして斯かる希望ありとすれば實行は大して困難はなかるべきか此言に現はれたる如く敦賀有志の開航希望を受けたとならば萬一右の試航が實現せられ舞鶴當事者が運動云々は果して何を爲し居たるかと云はざるべからず朝郵社が此希望を有するは渡りに舟の如ければ當事者は此機を逸せずして舞鶴築港の活用法を發見せざるべからざるべし

△滿洲苦力過剩　山東省は人口過多のため每年東三省及び露領各地に出稼するを常とせるが本年は兵亂のため多數の窮民は一齊に滿洲に赴かんとしつゝあれば山東出稼民は解氷と共に其數非常の多數に達し滿洲一體に苦力の餘剩を呈すべしと

△浦鹽復航運賃　大阪商船浦鹽復航運賃は近時雜貨の一般貨率に比し割安なると且つ露貨留の暴落とにより斯る引上を爲さしむる事になりたる由なるが即ち現行運賃に比し約五六割の程度即ち邦貨換算四圓三四十錢に決定したるが尙ほ遞信省令運賃五圓に比較すれば下位にあり而し實行期は一二週間後より實施さるべしと

△安東寄港と滿鐵　大阪商船安東縣寄港廢止に伴ひ今回さらに滿鐵より復舊方の交涉を本社に達したる由なるが汽船側に於ては同航路開始後十數年來の關係あるも元來同地方面の貨物輸送は採算上朝鮮鐵道によるべきものなるを以て寧ろ該鐵道と協定輸送に努むる方得策なるべしと語り居れり因に滿鐵は同地の經營を一手に引受け經營し居れるを以て之れが廢止は大の影響あるべしと

△滿洲觀光旅行　京都市教育會にては八月中に滿鮮旅行をなす計畫をなせり會員は一人六十五圓大連、旅順、撫順、奉天、平壤、京城、釜山を見物し十三日目に下關に歸著しそれより歸航の豫定なりと（大阪支局）

日報歌壇

[illegible]子

二三十蒔きし花の實たゞ一つ芽を出しにけりその芽可愛や

春の夜や灰口の前初雛の人形のお顏淋しう見ゆ

鮮やかの朝の太陽をおろがむと一夜に花は咲き出でにけり　廣安つれた

卒業の記念に植ゑし校庭の吉野櫻の花が咲くらむ　谷口百花

大いなる桶を背負ひて擔賣は我家の前を通りけるかな

我はもつかな物かげに行きてはそつと涙ふく悲しきさがを　香山秀雄

親しかる凡てのものと別れゆくさびしき春にめぐりあひけり

いざ往かん行く術はいづこ親しかる旅とし思へど寧をたづねて

景品付賣出當籤番號發表

先般來弊社製品百圓票へメルツト・ダリヤ景品附賣出開始以來愛煙家各位の御後援により空前の盛況を呈し昨二十九日明治町總販賣所に於て警官新聞記者及各販賣店立會の抽籤の結果下記當籤の番號を得候間此段廣告候也（下記の番號はイ號よりチ號迄各組に共通す）殘數等外はメルツト一包進呈

景品引換　五月十日以後は無効とす
景品引換場所　京城黃金町官煙販賣組合

▲一等　拾圓債券　十二本
一七九

▲二等（朝日一盒六十本）
四二九　四六五　一八〇七　二六八三　二八九〇

▲三等（シャツ又はヅボン下百六十本）
七九　二〇四　三三一　六六八　一〇二四　一〇五六　一四五四　一四七五　一四七八　一六〇四　一八八六　二六五五　二九三九　二九八七

▲四等（卷煙草入又は相當品三百六十本）
一二二　五八〇　一〇九五　一八八九　二六三九
一三一　七二四　一三五一　二〇一五　二七一一
二八四　八四五　一二六〇　二〇七二　二七四八
三一二　九一七　一二四一　二一四七　二七五七
三八二　九七五　一六二四　二三九二　二九三四
四四八　一〇九四　二八八〇　二四一五　二九九三

▲五等（朝日一包宛三千本）
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
九八六五四三二一一九八七六五四三二一一九八七五四三二二一一
二九八八九六一七九四一九一七四四七四九九八八一三
七七四〇七五四六一二一三一一五〇二三五一五八九六〇九

二二二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一一
九八七五四三一一九八七六五四三二一一九八七六四四三二一
四三三八八〇八〇八九四一〇二四一二三五七五〇九一一三三
八九九四八八三六六三五八八四五四七七一四四四八六一〇六一

二二二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一一
九八七六四三一一九八七六五四三二一〇九八七六五四三二一
五四三〇九三九一八九八二一三六二二四五七八一〇一〇三五三
九二四八八一二七七八七八八二九九八八五五三三二九九八二七

二二二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一一
九八七六五三二一〇九八六五四三二一〇九八七六五四三二一
六六三一〇四四二〇〇一四二四七六五五六七九一二二一四六五
八九九三三五〇三二二二一二二〇三二〇〇八八四〇二六九七七

二二二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一一
九八七六五四二一〇九八六五四三三一〇九八八六五四三二一
八七四四一〇四三二〇三五二四七二七五六八一五二二一五七六
四五六六一九二二八六三〇七五一二四八二七九一一五七三二五

二二二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一一
九八七六五四二一〇九八六五四三三一〇九九八六五四三二一
八八六五一一五三四二四八六四七三七七九〇二六三二二五七九
六五八二九八四四九六三〇二七七三八四八四〇九三六二六三〇

二二二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一一
九八七六五四二一〇九八六五四四三一〇九九八六五四三二一
九九六八六七五三七三六九六六〇二八八九二二八七四七六七九
六五九二二一九五三五六四五四六四二四九三一一七四一六八四

二二二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一一
九七六五四二一〇九八七五四四三一〇〇九八六五四三二一一
〇八八六七六三九[illegible]七二七六一二九八〇三四九七五七七八一
三五七九二五八一三二四九五三五五九六八四二八五九四四八

二二二二二二二二二一一一一一一一一一一一一一一一一一一
九八六五四二一〇九八七五四四三二一〇九八七五四三二二一
二二八七八七五九七七三八六二二〇〇二三六四八七八八〇二
四二九五六五三八〇三二二七一九二七三九二一九七三三三四

▲六等（百圓票一包宛四千八百本）
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一九九八八七七六六五四四三二二一八
九九八七七六五四三三二一一〇〇〇九八八七七六五四四四三二二一〇八三九四七三七二五七〇四七一四八三
八〇二五〇五九六八一三八三八二一五九五八二五九九五〇四八三五六一六二〇一六六〇〇二三一一三〇
八五五三四九三九〇五六一三九六〇九六五四八二七七五四八二二四二

九九八八七七六六五四四三二二一一
一八五九九五七四九二五八〇四七一四
九九八七七六六四三三二一一〇〇〇九九八七七六六四四四三二二一〇二六八〇二二三三三八五九七八五四
九二二五二六〇七九一四九三九二一六〇五八四五二九五〇六八三八八
〇五九五二四二〇九七四九六〇七二八三七五三五七九八五四七四一五

九九八八七七七六五五四四三二二一
九五九五八四二六八一六八一五
六七九三九三四四九六〇一五七七
九九八七七六六五四三三二一一〇〇〇九九八七七六六五四四三三二一〇
九三三九三六一二〇三五〇四九三一七一六九四八二〇六〇八一三八九
一〇三一〇五四五三〇三二〇六七六三三四〇四三九二一九〇一六七八

九九八八七七六五五四三二二一
一六〇六〇四一二七〇二六八一六
〇四一三一四二六一八〇四七八五
一九八七七六六五四三三二一一〇〇九八八七七六五四四三三二二一〇
九四四九三六二二〇三六〇四〇四一七二七〇四〇三〇七一八一三〇〇九
九九七二一七二六八二九五一二一七四二七二七一〇四一四三五七七六

九八七七六六五四三二二一一〇〇九九八八七七六五四四三三二二一
五六九三七二三一五七〇六一四一八三七〇六一三〇七二八一四一一三
七七四三七四三二六三六一一五八三〇八九三〇一五三五四七二〇一
九九八八七七六五五四三三二一
六〇六〇五一四八二二六〇三八一
八五八六八四〇四四八七〇五八一

九八七七六六五四三二二一一〇〇九九八八七七五四四三二二一〇
七八九三八三三一五七〇六二五一九三八二六一三七七二八一四一一三
四七五六〇一四三八四八七二〇九〇八一二四一二〇七八六九八三九二
九九八八七七六五五四三三二一
七〇六〇五一五八二四六〇三九一
一六九七九〇六五八二八三六〇二

九八八七六六五四三二二一一〇〇九九八八七七六五四四三三二二一〇
七九〇三九四三二六七一七二六二九四九二六一三九七三九二五二二四
七九六七二五九二六七九三五九一九六一九八三八一九七二〇九二〇一
九九八八七七六五五四三三二一
七一八一六三七九三五七〇四九
四一一三七二四七〇八二七二五

九九七七七六五四三二二一一〇〇〇九八八七七六五四四四三二二一〇九九八八七七六六五四三三二一
八〇二四〇五五六七九三七二七二〇五九五七二四九八四〇四六二二六七一八三六三七〇四七八一五九
〇〇一三一〇二一一九三六九六五〇六五三七七〇六三三〇七六五六一八八八九八四五九一〇四九〇七三

京城官煙販賣組合・京城官煙元賣捌組合

□東宮殿下御誕辰佳節 高官に祝賀の酒饌を賜ふ

二十九日は東宮殿下第十七回の御誕辰を壽かせ給ふ佳き日とて殿下には午前九時歩兵大尉の御正裝を召され東宮御所御出門、入江侍從長御陪乘濱尾大夫以下供奉の諸員を随へさせられて御參內あり御對面 陛下よりの御祝詞を受けさせられたる後御退出正午祝賀の御膳につかせ給ひ東郷御學問所總裁、波多野宮相、戸田式部長官、久我宗秩寮總裁、鷹司侍從長、大迫學習院長其他宮內省高等官に酒饌を賜はり又淳宮高松宮兩殿下には午後一時東宮御所に成らせられ東宮殿下に御對面の上御祝辭を言上あらせられ後に殿下御揃にて供奉員御學友を随へさせられ御苑內御餘興所に御台臨東京相撲太刀山以下三横綱を始め幕內全部の相撲を御台覽あり終つて兩皇子殿下と共に御晩餐を執らせられ給へり(東京特電)

◎露平和促進者の勢力 彼等の勢力決して侮るべからず

露國平和促進運動者が駐露米國大使に對し露國の行動を疑したる事は其の筋に情報ありたるが右は米國が對獨戰爭を極度に遂行せしめんとする主張に對し之等運動者の反感が偶然に勃發したるものにして敢て重要視する必要なしされど露國内の平和促進運動は決して輕視すべからざる形勢あり露國にて戰に倦めるは同會勞働黨其一派等の一部なるが而も彼等は今回の革命に成功せしめたるものなれば其の實力決して侮る可らざるものあり急激なる平和促進者は憲法議會を急速に開きて其の決議を得るや直に戰爭を止めんと欲し居るより現政府は斯くの如き變局の生ずるを恐れ議會の開會を延期せんとしつゝあり幸に莫斯科に穩健派の中堅あり是等の者は憲法議會の即時召集に反對しつゝあれど要するに大勢の歸する所は露都にあれば必ずしも樂觀すべからず(倫敦電報)

◎米對聯合國援助確約

英國外相バルフォア氏は倫敦に打電して曰く米國政府との軍事協議會に於ける協定の結果聯合國に對する米國の援助は確約せられ且つ米國の徴兵制度は確實となれり(香港電報)

◎獨紙動亂勃發憂慮

獨逸諸新聞紙は五月一日を期し獨逸に動亂勃發すべしとて非常に憂慮しつゝあり(倫敦電報)

◎支那參戰問題の前途

總統府對國務院の軋轢再燃し現に國務院よりの公文に黎總統が捺印を肯ぜざるもの八件あり爲めに若し國務院が總統に捺印を迫らば黎總統は[illegible]を與へざるべしとの謠言すら傳はり支那の戰團加入に就いても果して總統が段總理の主張を容るゝや否や危ぶむ者あり(北京電報)

◎在支獨人の處分方 協商國側外人の意見

對獨宣戰後在支獨人を如何に處分すべきやに就きては國際政務評議會に於て未だ意見の一致を見ざれども協商國側外人の意見は大體に於て二樣に分れ一は彼等を瓜哇及び暹羅に驅逐すべしと云ひ他は是れを以て却つて陰謀を企つる虞れあれば危險なりとし支那の某地に監禁すべしと主張しつゝあり(北京電報)

◎林公使段總理訪問

林駐支公使は二十八日午後段總理を訪問したるが時節柄多大の注目を惹けり(北京電報)

◎阿什河糖廠 近情

[illegible]情況を聞くに該社は[illegible]の都合なる阿[illegible]蘭人にして技師長の如き亦波蘭人たり初め支那市場に供給する目的を以[illegible]め白砂糖、塊糖の製造を行ひ其額一個年十五萬布度内外にして哈爾賓に[illegible]

▲原料甜菜 [illegible]内外に限らず[illegible]通十俄を又輸種一晌地につき卅[illegible]ラン(我百九匁一分一厘)を無代に[illegible]は前記同額を無代にて配布する上に其買上價格は附屬地内栽培者に比し一布度に就き二哥[illegible]に高價に買取る事で[illegible]雜費は總計約三十留にて足る可く目下該社の甜菜耕作地は一萬晌餘に[illegible]

◉櫻井町の晝小火 二十九日午後四時廿五分京城櫻井町三丁目[illegible]

◎王次長免官

二十八日命令を以て王交通次長の職を免じ健良を以て交通次長代理に任命せり(北京特電)

□東宮殿下へ 御祝品 兩陛下より御贈進

二十九日午前九時東宮殿下には御誕辰御披露の爲め御使を宮城に差向けられ鮮鯛二臺を献上遊ばされたるに兩陛下より折返し御使を東宮御所に使はされ左記の通り御祝品を御贈進相成りたり

一、鮮鯛 二臺
一、清酒 一荷

尚ほ東宮殿下と三皇子四內親王各殿下との間にも御祝品の御贈答ありたり(東京特電)

◎日佛協會總會

日佛協會にては二十九日午後三時より同協會總裁閑院宮殿下御本邸に於て[illegible]

本社主催 南北滿洲視察團

◉少時の名殘を惜しみつゝ 途中團員の下車 萬歲

廿九日平壤通過後の一行は午後二時五十三分沙里院驛著、此處にて一行の第三部の元老金泳澤氏以下數名の下車あり一同プラットフホームに別れを惜みて帽子をふりつゝ萬歲を三唱す、次いで南川驛に於ては一行中の元老として且つ雄辯家として大隈侯の稱ある全南道參與韓致愈氏の下車ありこれも一同萬歲を高く絶叫すかくて午後五時三十分開城驛に安著すれば驛頭視察團々長たる趙重應子等の出迎を始め開城內鮮人有志の出迎へあり殊に萬綠叢中紅一點なる開城妓生の出迎へさへありて團員中よりは副團長尹致昊氏を始め數人の下車ありかくて一行は近次視察團として數時間の名殘を惜みつゝ午後六時十五分臨津江の鐵橋を渡る(京義線長湍驛にて金谷幹部員發)

◉總督羅南視察

羅南に來著したる長谷川總督は二十九日午前八時三十分旅團司令部にて長官の伺候式を行ひたる後兵營、衛戍病院、學校等を視察し午後二時羅南發、同三時三十分再び清津に來著するや直に弘濟丸に乘船元山に向ふ(清津特電)

◉御慰問使著邸

御慰問使內田侍從武官長は大邱陸軍各部隊に聖旨を傳達する爲め二十九日午後四時五分の列車にて來著、多田屋旅館に投宿したるが官民有志學校生徒の出迎頗る多數也き(特電)

◉宇佐美長官動靜

卅日出發開島視察

長谷川總督と同行せる宇佐美內務部長官は清津にて一行と分離し二十九日富寧に向へり(清津特電)

◉遠忌法要 仁川別院に於ける

二十九日東本願寺仁川別院に於て宗祖大師遠忌法要執行せり定刻に先立つ四五時間前より數百の善男善女は堂に溢れ何れも隨喜の涙を泛べつゝ時の至るを俟つ軈て午後零時三十分に至るや紫の附袈裟の衣を著けたる法主は本堂に入れば老幼男女は嚴しく唱名合掌して之を迎ふ法主は白臘紅臘の光に輝く金紗に輝やく祖師の尊像に禮拜したる後、鮮麗なる剃刀を以て信徒婦人等に接見し、終つて直に室に退出、更に總代及び評議員等に一々剃髮得度の禮をなしたる後儀の行列に移る、行列は別院信徒の吹奏する樂の音に連て參詣僧侶及び美しき稚子等法主に扈從して本堂を下を練りて二週し、次いで法要を營みたる後親教あり南條博士の剃度あり午後五時頃法要全く終りたり。因に南條村上の兩博士は同日午後八時より東本願寺堂內に於て講演をなしたり

◉南北滿洲視察團畵報(十)

(上)五龍背驛より安東縣の有志に迎へられて同溫泉に向ふ(下)五龍背に於ける歡迎式

人事消息

▲岡本[illegible]氏([illegible])二十九日夜入京[illegible]

支那遍歷 西湖の春(四) 中島生

日沒して後、湖上より宿に歸り、晩食を濟ませたる頃、日本領事館の瀨上氏より電話ありて、大した疲勞なくば、之より來りては如何、寛談致したし、幸ひ今宵は月もあり、舟にて來らば、風情もあり且つ便利なり如何にや、とて直ちに承引して舟の用意を整へさせ、領事館へと赴き候。陰暦九日の月は朧ろに中空に懸りて、影を湖面に浴せりつ舟進む時、湖中の月は擢けて、鏡波溶々たり。白公堤、長堤を横たへたる如き、蘇堤に架せる斷橋の、石の鼎は水に映じて全體を成せる所を渡り、暖香亭の邊より岸に上る。日本領事館は、寶石山の麓に在り、數十歩に過ぎず門を入れば、支那人の小使出で來り燭を乗りて本館に案内す。瀬上氏は席を設けて小生等の到るを待受けられ、一見舊知の如く待遇せらる。瀬上氏はセリー酒を勸め作ら、杭州の貿易經濟産業など、硬派に屬する智識を供給せられたるが、又西湖探勝に關し、趣味ある軟派材料をも、時を咨まず提供せられ候。此の領事館は小高き處に建ちたれば、居ながらにして、西湖の勝景は双眸の裡に收め得べく。辭齡先生、其の七十八日遊記中に「若し風流に西湖一の領事館を求めば、予の知り得る限りにては我が杭州の領事館に過ぐるものなかるべく……予は領事たる杭州の吏たるを希はざるも、若しさる場合ありとせば一個月にても、此地の領事に、なりたしと思ふ也。併し領事たらざるも賓客として寄留せば更らに佳也」と申されたり。若し先生支那に再遊せらるゝ時あらば、我が杭州領事は、一個月間でも、先生を賓客として遇するに吝ならざるべしと信じ申候。辭去し、再び湖上の人となる。西湖の春宵は、得も云はれぬ風情也。輕く鬪ゆる水棹の音の外は、萬籟闃として聲なく、自然は眠れるに似て、只々夢の境にあるが如し。山も、塔も、人家も、樹も、全く有りの儘に影を湖水に映して、天地は靜まり返れり。犬の聲さへも聞えず。宿に歸りしは十一時過なりき。[illegible]四月一日の午前五時には眼を覺まし候。[illegible]西湖の日の出を見んと、[illegible]自己[illegible]したる也。[illegible]支那人[illegible]後山に[illegible]西湖の北に在り、[illegible]の高きならむか。

此山は昔時の葛洪煉丹の處なりし故に葛氏は支那に於ける染物の第一祖也。山の中腹に葛仙庵あり、上海杭州あたりの染料商、葛氏の神德に因り[illegible]重修せるなりと云ふ。更に登りて嶺の頂に到れば、[illegible]陰暦十月の朔日此處に立てば、日月併せ望むを得べしと謂へり。此處に立ちて回顧すれば、眼界開けて、西湖の全景は、脚下に在り、杭州の市街は一眸の中に在り、[illegible]

南言北語

[illegible]

中學世界

五月號出づ 定價金廿二錢 郵稅二錢 東京本町 博文館

末廣がり(新講談)……三宅博士
賭ひ征伐(一高ンス)……京雄
銀葉樹(通信)……吉江孤雁
特別記事 露西亞事情 [illegible]
▲博士か兒童か(長篇小說)……野尻抱影
▲學問は獨習に限る……浮田博士
▲精良なる軍器……三村博士
▲[illegible]
東門青今……[illegible]
楠木正成……黒板博士

鑛山用測量諸器械 京城 シサキ

料理の友

五月號要目 [illegible]

家庭で改良すべき重要問題……山脇博士
實用的夕飯の副食物
風雅な一品料理七種
主食物改良意見……上井博士
健康食品として麥の研究
風流な茶人向の料理
新な家庭宴會
食費半減法の實例

東京 大日本料理研究會

◎遊金を如何に處分す可きか

▽金は最大最高の權威である
▽如何にせば金が儲かる乎
▽諸君に勸めんとする簡易最善の利殖法
確的安全なる現株の賣買
▽遠隔の定期取引は危險である
▽金儲の近路は現株賣買に限る
▽定期證據金位で立派に現株の賣買が出來る
▽現株で資金入用の御方は低利で世話致します
前項の理由わからぬ方は御問合次第即答

硬軍の出動の時
◉現株賣買は確實なる貿業也
◉安全第一平和觀術及營業案內
◉舊讀御申込次第進呈致す

ヤマボシ 銅生屋株式店
東京市日本橋區坂本町十八番地 公許株式現物問屋
電話浪花 [illegible]

◎躊躇は成功の讎也

…の當然の事に關し共に北滿製糖界に於ける二大立物にて歐戰の結果糖界の景氣に伴れ其業務は長足の發展を途げつゝあるが今回什河製糖會社の…設立に係る株式會社にして其定款は勅裁を經たる者なり本社はワルシャワ市に在り資本金額百萬留にして其株は露人に係るも株主の多くは波…

砂糖及び塊糖（角砂糖）殊に之を告ぐる時には之れが補給の爲め塊糖、白砂糖を製造する方針にて創立せられたる者なるも當從黑砂糖の製造を止…

…遂ぜらる製造期間は秋季九月中旬より十二月下旬迄三個月餘なり其一個年の最大製造力は四十萬布度なる原料供給の關係上之れを十五萬布度…

…め先づ東清鐵道附屬地內に栽培を獎勵し次第に阿城、雙城、賓江の鐵道附近の農家に栽培せしむ而して會社は甜菜栽培貸資金を貸し一晌地に對し若…

…社員を派して栽培當事者を監督せしめ其收穫原料は必ず指定の場所に於て會社に賣渡さしむ又附屬地以外の土地に於ける栽培者に對しては種子…

▲甜菜の收穫高 は一晌地に付七百布度乃至八百布度なり又一晌地に要する勞力肥料代及び運搬迄の運賃…

…栽培地あり昨年は…大豆…の爲め…該社は會社…耕作區域の擴張を行ひ…目標に延長し…を燒きて鎭火せり

◆萬歲＝無事行程を了ゑて南大門驛に歸著せる滿洲視察團

●長途の旅行恙なく

吾社主催滿洲視察團の歸著

―萬歲！萬歲！南大門驛頭の歡聲笑語―

吾が社及び每日申報社主催南北滿洲視察團一行は既記の通り二十九日午前五時五十分五個嶺を出發し安東縣を經て同午後七時三十分南大門に歸著した此日朝の間の雨も

▲名殘りなく晴れて空には浮雲の影だに止めない肌觸りの良い南風がポプラの若葉をくゞつてそよ…灯が瞬ふ大正親睦會の朝鮮音樂隊は勇ましい喇を立て手を以つて數ふる出迎官民の群衆

▲右往左往渦を捲く 斯て列車が春の夕暗を破つて著驛するや出迎人の面々我れ先にと列車內に飛び込みて固き握手を交はすもの車窓にすがつて歡辭を揚ぐるものそれに一入の混雜だ團長趙子爵を始め團員一同下車し了るやフォームも割れよとばかりに萬歲を高唱し三々伍々相擁し握手『御機嫌よろしう』を交換する樣、長途の旅行の恙なかりしを祝福し益々團員の意氣壯んなるを覺はしめた團員の孰れも半月餘の旅行に

▲些の疲勞困憊の色もなく異口同音に『御蔭で愉快に旅行を終へまし大いに有益に各所の視察を終へまして……』と出迎の人々に挨拶する向所を振り返つても團員出迎人共の樣は實際天眞、無邪氣と云ふより外に滿面喜色を湛へて歡語笑聲の其の有樣はなかつたかくて途中引續き開城等で踏に著いた團員を除き八十餘名の紛紳は明い提灯や赤い旗と朝鮮の古樂に送られながら俥を連ねて

▲嬉し顏に歸路に 著いた、思へば去る十五日勇敢を突いて遠く南北滿洲視察の途に上り滿蒙の曠原を物ともせず到る所研究の行動を…

…くと吹く夕陽遠く桃李の彩花艶やかなる西山に落ちて街には赤い灯影が雨後の潤い軒下に一入鮮かに視察團の歸著を祝福するが如、キラくと輝いた停車場前には本社旗及び提…

◆東宮御健勝

日常の御起居

東宮殿下には近來益々御健勝に亙らせられ四月十三日御學問所第四學年の御課業に就かせられて以來一日も御休學なく朝は五時四十五分といふに御目覺めに相成り伊勢大廟並に宮城を御遙拜し七時四十五分御學問所へ成らせられ午後二時還宮御自修の後乘馬テニス等の御運動あり御愛犬『キク』を御伴に廣大なる花園を御散歩あらせられ御晩餐後は暫く御書見あり夫より御就眠あらせらるゝやに漏れ承はる（東京特電）

●奇拔な趣向揃のお花見

日曜日の牛耳洞加五里の賑ひ

…遂行し其が目的さ任務を無事終了して一同元氣旺盛の裡に歸著する事が出來たのは

▲何より芽出度い 次第である當日の出迎人の主なるものは芳賀總督府醫院長、權重顯子爵、林幹城男爵、商業銀行長趙鎭泰氏、漢城銀行專務韓相龍氏、安淳煥氏、大正親睦會幹部連、三興學校生徒、鐵道局では横井汽車課長、…南大門驛長其他職務從業員、新…女生組合等であつた…斯くて大なる成功を收め團員の面は…な意氣益々旺盛を加へて歸驛した次第である

二十九日は花は滿開日曜ではあり、臨時列車は出る割引はあるといふので花見る人のためにこよない佳い日であつたが見らるゝ花が今年はいかなる不仕合せか、朝から霧なさ降りだした生憎な遣らず雨少からず人の出足を鈍らせた

♣鐵道局が用意 した臨時列車も之れがために豫期した程の人を容れる事も出來ぬ有樣であつた、それでも元山行の普通列車が出る九時半頃には假い客に坐の斷れ目が見れただしたので盛んな人出であつた、花は前日來の雨に色をへ匂せず附近一帶にけばくしく飾られた酒ビールの廣告旗を嘲けるやうに美しく咲いてゐたが花見る人は例年に較べて餘程少なく淋しかつた、それでも

♣厚ぼつたい雲 に遮ぎられた太陽が頭の頂上から弱々しい熱を放射しかけた十二時過ぎから東小門街道を來た人もあつて大分人出が增して來た、今年は人出が少ない割に、奇拔な趣向で繰り込んで來たものが多く、赤襷に赤手拭の頬冠り、或は揃ひの黃色の手拭を首に捲きつけてる者もあり、洋服の一團が帽子の代りに

♣管笠を戴いて 來るもあれば發者では最け清水屋の連中で足に化け或はオーバーコートを着込んで鬚を生やした珍姿なのもあり赤花いろくと降りかゝる、或は水ちよろくと流れる溪川の澗に設けられた貸席には藝者を擁して唄ひ踊り大騷ぎをしてゐる陽氣な者もあれば、藝者がボツくと三味線を鳴らして唄ふ聲は

♣滿山金谷に響き 甲高な鼓節に浮かれてビール瓶を振つて踊り舞れる吞氣者も大分ある、貸店は各ビール店は素より菓子、壽司、饂飩など種々あつたがその內でも奇拔だつたのは例の文士羊羹の山崎斌君が天蓋のやうに咲き廣がつた枝垂櫻の手前、とある櫻の下に敷いた緋の毛氈の上に櫻を添へた羊羹を一面に並べて馴れぬ手つきで

♣羊羹を賣つて ゐた事であつた、店の前に並べた短冊には鳥堂君の『春の星仰ぐよろこびのお…

♣極めて靜かな …種類や數が多く醉つた人…らないので子供連の人達は非常に…んでゐた、牛耳洞も加五里も花は今が盛りだけれどもまだ醉を越して居らぬ、これから雨さへなければ風さへなければ、二三日はまだ盛り…

♣花下にうかるゝ人（廿九日牛耳洞加五里）

…はつくくであらう、本當の

♣春のよろこび を味はうとする人は盛んに往いて觀られん事をお勸めする東小門外からゆくも彌阿里から行くも道は平坦、行手の道には花さはまた別の趣きをあらはした春が溢れてゐる朝鮮の春の命は甚だ短かい行け牛耳洞へ！加五里へ！

●關東强風

被害郡々に多し

關東州方面は二十九日南西の强風吹き荒み…十…に被害…（旅順電報）

●佐賀師範休校生

暴行を演ず

當局者の惡評中

佐賀縣立師範學校は…同校に於ける…事件に就て…二十九日より…

■苦力■（三）

哀れな生活

▽衣食住 …苦力の生活は…彼等は…

▽淺黃の …これが苦力の…

▽上衣を …

▽碧山莊 の…しかもパンの一塊をムシャ〳〵と…つた、大きな苦力は…つゝ笑つてゐたが…た、苦力にはまた日本の…ふべき

▽苦力頭 …居る、…は二階建の煉瓦谷に住み大勢の部下と家族とを有つてゐる、…ら苦力頭總ての頭目となつて別に大苦力頭を置かぬとのはなしであつたまた廣くして夥多なる建物の後方には堂々たる樓門のお寺があつたこれは苦力精神上の慰安を與へる爲めに建てたもので苦力中の

▽死人は 一夜を此處に安置して…

…見ゆるといふ、…一面の人の山、…い謠のベアリンが小鳥籠の…ればならぬ、…た、彼等は其の日〳〵の…五六十錢の勞銀を貰ひ一年一度の…汗で貯めた二三百金の金を懷ろにして歸る——くれ〳〵も云ふ苦力は滿洲の原動力である（大連にて視察團幹部金谷生）

朝鮮京城岡崎町八番地
製造元 京城清涼社
電話一四二〇番・振替京城一九二一番

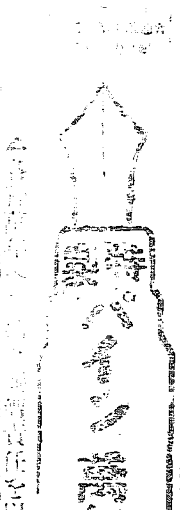
公評嘖々
實務家諸君
時事新報萬朝報
學生諸君
十萬部普及版特價金三圓（正價金貳圓五拾錢）
郵稅（內地十六錢…五錢…四十五錢）
東京神田 富山房（振替五〇一一番）

絕大の實行
小柳司氣太兩先生著
特價〆切愈來月廿五日限
最新式索引附

詳解漢和大字典

內容見本進呈

THE PINE PEN



萬年筆
萬年ペンの善惡は決して其の名の新古を問はず各種萬年筆に付き經驗を有するものは何れも一得一失あるを知るべし弊社玆に鑑みる所あり特別の技能を有する精巧製作所をして數種の萬年筆を作らしめ其特長を採り完全無缺なる左記萬年筆を發賣するに至れり…

發賣元
販賣所
京城日報社代理部
ウツボヤ書店

怒濤の月

小林蹴月作 武内桂舟畫

百五十

熱と氷と(二十九)の四

『自分勝手に取極めたんぢやありません。悉皆佛樣のお導きに依て、然う取極めねばならぬやうになつて了ひましたんです。』

綱代は、口を開けば開くほど、益々冷靜に落ち行くやうな言ひ方を爲るのであつた。

『なにツ、悉皆佛樣のお導き？綱さん、お前の言ふ佛樣とは、阿彌陀樣でも觀音樣でもなくして、闘羽のやうな顏貌の生れた、男爵花泉直照と云ふ佛樣なんだらう。僕はちやんと知つてます。お前は、僕の如き索寞

貧の畫工に愈愛憎を盡かして、黄金の光、權勢の榮に眼が眩んだね。是までの難苦を忍んで、辛抱に辛抱を盡くして來た貞淑の心が、路傍に捨てゝある古草鞋と同樣、くツくツ腐れを生じて來たんだね。だが、お聞きよ綱さん、腐れを生じた古草鞋は、五月雨の闇を照らす螢と化する事もあらうが、お前の腐りはてたその精神は、八幡金輪際もう滴らかつた炭團の火ほども光を放つ氣遣ひはありやせんよ。僕も實を明せば、お前を十二階下の魔窟から救ひ出さうと爲て、何者かの爲めに先を越された時には、落膽と失望の極には違ひないが、もう〳〵再びお前と云ふ女とは、邂逅する機會がないものと確信したので、自分自身には云ふまでもない事、天地に誓ひ親友に誓ひ眞個根本からお前の事は斷念めて了つて、遲蒔ながら專心一意、畫の道に全力を傾注しやうと覺悟した結果、總ての過去の感情と俗情を拭ひ去つて、光風霽月……幸ひ男爵家の金屏風に筆を染めやうと思つて、既に十數月來工夫に工夫を凝らして居る最中なんだが……それでもね、綱さん今夜偶然の出來事から、男爵邸の此の花見舍から轉げ落ちて、地續きの此の舞踏場を潜りぬけやうとする途中、何者の引合せかは知らんが、お前に意外にも此の障子を引開けた時には僕は實に、奇蹟と云はうか再生の嬉しさと云はうか、その瞬間の僕の心持ばかりは、どんな天才の文章家でも紀にする事の出來ない無限の不可思議に打たれて、僕はまだ心臟の鼓動がどき〳〵しとるんだよ。それにも拘はらず、お前は只冷かな眼で冷かな語を以て、『斷念せよ』の一語で僕の事を滅却せしめやうと爲るのは、そりやお前、熱火に向つて、一滴の水を注ぐと云ふもんぢやないかね。

寫眞 **割引** 遠近拘はず出張撮影仕可候 京城旭町一丁目 河原寫眞館 電二一九八一番

お前の心が、眞にそれほど……氷の如く冷たくなつて居るものなら、僕はもう何にも言ふまい。何にも言はん代り、お前の口から只一言――その氷の如き語を以て、今は既に、男爵の意志に從つて居るなら居ると、明かに然う言つてお呉れ。それ丈が幸三郎の最終の頼みですツ。』

正しく幸三郎の心は火と燃ゆ、幸三郎の舌端は炎と化して居るのであつた。彼の過去を通じて、恐らく今の此の場合ほど極度の熱氣を以て、強く鋭く他に接した事はなかつたのである。彼は自分をへも知らざる間に激越なる、而も極烈なる大能辯家と成り得たのであつた。彼の眼はきら〳〵と輝き、彼の神經は最高度に充奮しきつた。そして、猛き額の油汗はいやが上に氣味わるく流れた。

『阿兄さん、まあ、そんなに妾を苛めないで……』

綱代は、流石に堪らなくなつて、其處まで言ひかけたが、又遽かに思ひ返したやうに口元を確と結んで、聊か下の方を急速にしきりに俯向いて了つたから

齒科 京城南山町三丁目 成歡上り **橋本醫院** 電話一九二〇番

『阿兄さん、郎君がそれまでに仰有つて下さる志を、決して……決して、無にする心は有ちませんけれども、妾、何をお包みしませう、實はもう花泉の御前の爲めに身を汚められて了つたのですから……今更阿兄さんが何のやうに仰有つて下すつたところで、何とお答への仕樣がないでは御座いませんか。それで阿兄さんのお腹立が摑りませんやうなら、偶然此處でお目に懸つたのが幸ひですから、妾を殺すなり活かすなり、阿兄さんのお心任せに爲て頂くより仕方が御座いませんのです。』

綱代は、投げ出すやうに自分から身體を乘り出して、幸三郎の側へ差寄つたのであるが、而も自己の顏は暗い方へ反向けて、知らさぬやうに熱い〳〵涙を嚥み込んで居るのであつた。

『宜し！綱さん、お前は能く言つた。僕は敢へてお前を殺す活すの問題を提出しこるんぢやないんだ。お前が果して男爵のお外妾になつて了つたと言ふなら、それで既う何にも言ふ事も聞く事もないんぢや。僕は僕で、最初から斷念めた通りに斷念めて居れば事が濟むんだから、僕は此の儘歸ると爲ませう。お前は永久に男爵閣下のお外妾なり、乃至は又新夫人の位地に据わるなりして、好な榮華を盡くしたが可いでせう。』

幸三郎は、魄の拔けた藁人形の如く茫然と起ち上つて、猪の縁先へよろめき出やうと爲た。

氣候の變り目に **人蔘キヤラメル**を 御愛用あれ

◇上奏請願書は 最初の日に十通來た

卍民意上達の爲め本月五日官報勅令第三十七號を以て公布せられた請願令は愈々二十五日から實施さるゝ事となつたが公布後約三週間を經た施行最初の日の午後迄に

卍内大臣宛 に提出でた請願書は十通あつた其の内一番に來たのは岡山縣後月郡の神官瀧本文海と云ふ男のものである同人は今迄に能く世間に知れ渡つた

卍上奏狂者 である其他の九通は未だ開封しないが其の内容が請願條項並に請願令の規定に該當して居るか何うか又請願令第二條及び第十一條に規定してある

卍禁止條項 を記載してゐないか何うかと云ふやうな事は内大臣府で審査中で内務、文部兩省に關係した請願書は其の正式手續を履んである

卍諸官廳へ も廻送照會した上で内大臣より 陛下へ奏上する筈であると云々と當局者は語つた(東京)

□公 句 會(山城館催)

[illegible]

新刊紹介

▲小學生(五月號) 十數葉の插畫は小學課程に因めるものを取め叢話には珍話、笑話、探檢小說等興味と教訓に富めるものを集めたり(十二錢東京府麴町區丁目寶文館)

▲文章俱樂部(文章雜誌號) 現代文壇の流行兒二十名の文章動機を初め新聞諸文士の近作數十及讀者文壇其他を載せたり(特價二十錢東京牛込矢來町新潮社)

▲極東時報(二三) 日俄兩國間の思想上及經濟上の融合を計らん爲日俄兩文にて編輯せる月刊雜誌にして月三回發行(東京神田)

▲實業公論(四月號) 請會社の紹介及び實業界人物月旦は極めて好評あり其他三宅、江木兩博士、淺澤、後藤男等の論說一讀に價す(十五錢東京神田猿樂町二丁目)

▲經濟資料(四月號) 米國製鋼トラスト論、戰後世界の森林と露國の地位、支那綿業調查資料、瑞典の製鐵業製沿及び發達(二十五錢東京麴町區下二番町六八外交時報出版部)

▲婦人(五月號) これからの女の取るべき途なる題下に新渡戶博士外四名士の男に對する女の態度を說示せる外依例諸新なる記事多く(二十錢東京々橋元數寄屋町三の古泉社)

▲講談俱樂部(五月號) 武田仰天子、寺澤琴風、佐藤紅綠、中內蝶二の外講談師の講談、小說、喜劇其他を加田(二十八錢東京本鄕駒込坂下町四八講談社)

▲新少年(五月號) 武田仰天子のお伽噺二つ痛快なる浪の歷史小說幻川邊中島氏の珍談其の他武勇傳落語臨賞物と賑々し(十二錢東京區田錦町三の六平和出版社)

▲主婦の友(五月號) 本號には主として中流以下の家庭に於ける經濟、育兒、社交、料理、家庭、衞生其他必讀の好文字滿載(十七錢東京市外巢鴨町一八二九東京家政研究會)

▲奉天商業會議所月報(四月號) 一 劉滿洲鐵道貿易に就き 兌換問題の研究、滿洲通貨、一班滿洲の農產物を見るべし(非賣品奉天商業會議所)

▲實業之世界(四月號) 一 支那關稅問題の是非(中橋德五郎)ゴムと稱せらるゝセルロイド製造小資本樂器店の開業調査販賣の話其他(十三錢東京麴町區有樂町一四其社)

一九錢外拾種 右購買ス詳細ハ四月三十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ **朝鮮總督府**

一スイツル織材外八種 右購買ス詳細ハ四月三十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ **朝鮮總督府**

夏物紺セル 洋服賣出 一等 上下揃 三圓八十錢 二等 同 二圓八十錢 三等 同 一圓五十錢 **鐵道拂下品** 其他軍隊拂下品各種和洋古着類荷揃 右例年通り特別廉價販賣 和洋服商 **金子與市商店** 龍山元町二丁目 電話 五〇五番 振替京城三八一三番

▲**各種萬年筆修繕**▼ 京城日報代理部 振替口座京城三〇〇番

入院隨意 **胃腸病院** 京城南大門通三丁目 電話一六五九番 院主 佐々木杏造

京日案內 普通一回(一行)…… 番外一回……

▲▲▲鍼灸按摩 治療 當分半額 **マツサージ** 本町一丁目飯田水車製造所橫入る 電一三二六 狩野 14

◎看護婦數名至急募集す 希望者は履歷書を送れ 仁川仲町一丁目 看護婦會

◎貸地 南大門通二丁目 三十坪餘 漢湖農工銀行隣 吉多金光堂 906 31

有給外交員數名採用す 希望者履歷書携帶本人來談あれ 京城花園町一二二番地 帝國圖書普及會朝鮮支部 40

番外 **店員募集** 相當學力ある者二三名募集す希望者は履歷書携帶本人來談 市內保證人を要す 京城本町四丁目 門田朝鮮堂 電一六八六 38

鑛山現場監督募集 多少經驗又は素養ある者 希望者は履歷書携帶あれ 旭町一丁目 小川安藏 39

◎**朝鮮語科** ◎**英語科** 新學期 三ヶ月修業 各級補缺 募集 南大門通漢城銀行向ひ 京城青年會 35

◎**鑛物分析** 京城大平町二ノ二參〇(電一八貳三) **松永分析所** 29

恩給年金 即時立替 勸業債券(五分利)額面以上特別高價買受 銀行爲替之好 明不可進 京城若草町百六番地 電話三千十一番 **西村商會** 960 905

◎**鑛物定量分析** 太平町二丁目 電話長二三四四 朝鮮公論社左横小路 **坂元分析所**

勸業債券高價買入 京城大平町二丁目 電話二七九三 **朝鮮產業社** 17

◎京城春川間 ◎京城春川間每日自動車往復 每日午前八時廿分出發 南大門通一丁目 **廣橋自動車** 電話二一九番 主務 金正淵 775

資本金參百萬圓 明治三十六年八月十三日設立 當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候 京城府南大門通二丁目十四番地 株式會社 **漢城銀行** 頭取 李允用 長 男爵 韓相龍 専務取締役 電話 二六四六番 二三九番 振替京城一八六二五番 支店所在地 水原、平壤、大田、開城 出張所所在地 南大門、鍾路、東幕

內科 小兒科 京城日出小學校前 入院隨意 **多々見醫院** 電話九四〇番

堀內新泉先生新著 **當世百道樂** ◎著者獨特の警の奇觀犀利の筆を以て現代の道樂を解剖し或は大に奬め大に戒め大に遊び大に笑ひ大に自省せしむる大文字 深く強く現代を諷刺し猛省せしむる近來稀有の快著也 (內容の大略) 女道樂▲馬道樂◎釣道樂◎旅行道樂▲猫道樂 金道樂▲借金道樂 カフエー道樂 … 四六判 美裝 定價一圓廿錢 送料八錢 賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 **京城日報社代理部**

イゲダ小兒病內科醫院 池田季雄 京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院一二三四番 自宅八八〇番)

醫化學諸器械一式 (K) 仁川本町 **北島藥店** 電話三三四・振替京城六七番 京城本町永樂町角 **北島藥店京城支店** 電話七六一番 **藥種賣藥卸商**

產科 婦人科 專門 京城明治町二丁目 **中央婦人病院** 院長 電話二三四〇番

銚子港 田中玄蕃釀造 **ヒゲタ醬油** 代理店 櫻正宗 發賣元 京城明治町一丁目 **山邑京城支店** 電話八四九番 振替貯金京城七五番

最新刊 書名 著者 定價
◎大字典 上田萬年外 二、五〇
◎詳解漢和大字典 服部、小柳 二、三〇
◎現代の文兒と法律 牧野英一 一、三〇
◎評論政界の表裏 山田 九〇
◎海外發展と我國の敎育 … 七五
◎書翰文大觀 內海月杖 九〇
◎大正六年一月現在 … 錄 … 五五
◎大正六年一月現在職員錄 … 四〇
◎草書の書方 … 六五
◎概世餘言 大谷光瑞 三五
◎文學趣味養成論 … 一、五〇
◎靑山小劍… 一、〇〇
◎八 の 情 … 八〇
◎梅 鉢 … 九〇
◎碁草(疑獄の巻) … 一、一〇
◎釣 天 … 一、〇〇
◎佐 倉 史 談 … 二、〇〇
◎前幕府 … 八五
◎問 … 一、二〇
◎ … 一、〇〇
◎運動具色々な各種取揃ひました御用の節は早速御電話に入れます
京城本町一丁目 電話六四・六八六番 振替京城二五七三番 **大阪屋號書店**

百圓進呈 りん病 ばい毒 帝國醫科大學病院 … 大阪ドラッグ商會

にせ物あり 大阪有田ドラッグ商會 京城南大門外停車場通 グッラド 京城 南大門外停車場通

共同汽船仁川出帆 ○芝罘、大連行 會下山丸 五月一日正午後入港 阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番) 仁川代理店 野口商會 元山代理店 … 京城取次店 河村運送店

大阪商船仁川出帆 ○外航各所高航路…
群山、木浦、釜山、馬關、門司、神戶、大阪行 須磨丸 五月十九日後五時出帆
汕頭丸 五月廿九日後五時出帆
門司、神戶、大阪行 汕頭丸 五月十三日後二時出帆
釜山、梅濱行 濟州丸 五月三日後二時出帆
木浦、釜山、嚴原、鄉の浦、長崎行 安東丸 五月二十日後二時出帆
安東丸 五月十一日後二時出帆
鎭南浦行 薩州丸 四月三十日後二時出帆
汕頭丸 五月十日後二時出帆
南浦、莉山、神戶、大阪行 須磨丸 五月六日後二時出帆
鎭南浦、大連行 安東丸 五月十五日後二時出帆
安東丸 六月一日後二時出帆
大連直航 濟州丸 四月廿九日 正午出帆
龍州丸 … 月 日
清津行(元山出帆) 安平丸 五月十一日後十二時出帆
西湖津新浦城津清津行(元山出帆) 宮島丸 五月七十日後十二時出帆
上海、芝罘、打狗行(大連出帆) 湖北丸 五月十八日前六時出帆 基隆丸 五月三日後四時出帆

朝鮮郵船出帆 本社 京城府南大門通 松原運送店
江原丸 五月十三日 京畿丸 五月四日 黃海丸 五月八日 咸鏡丸 四月廿九日 釜山發
稷城丸 四月廿九日 昌平丸 五月三日 錦城丸 五月三日 元山發
昌平丸 四月 日 元山發
益德丸 四月廿八日 釜山發
江陵丸 每月 釜山浦項發
三浦丸 四月三十日 釜山發
海州丸 平壤丸 廣濟丸 每日 釜山發
平原丸 五月四日 元山發
天丸 三月日 木浦發
慶興丸 四月 日 木浦發
慶興丸 五月三日 木浦發
公州丸 四月廿八日 木浦發
麗水丸 五月四日 仁川發
晋州丸 四月一日 仁川發
宗信丸 五月一日 仁川發
江原丸 四月一日 仁川發
麗水丸 四月一日 仁川發
晋州丸 四月 日 仁川發
南陽丸 全州丸 每日午前 仁川發

尼崎汽船仁川出帆 群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○六有丸 五月二日後四時出帆 ○君か代丸 四月四日後四時出帆 ○秀吉丸 四月三十日後四時出帆 ○神代丸 … 高杉回漕部

金泉醴泉間自動車時間 金泉織居自動車支部

日本郵船仁川出帆 大連行、太沽(天津)、牛莊行 相模丸 四月 日 砂丸 五月十二日正午出帆 三河丸 五月十二日正午出帆 堀回漕部

切符發賣所 御注意 京城日報社 大阪商船會社 … 開豐旅館

○獨逸三戰線放棄か

獨國政府は在墨獨人に對し米墨國境に集合せば直に捕縛すべしとの警告を發したり(華盛頓電報)

○遣露米國特使決定

林特支公使は二十八日夜軍事會館に列席せる各督軍及び代表者を招待して晩餐會を催せり(北京電報)

大歡迎を受け各方面の視察を遂げいあり(奉天特電)